TOKYO GAS

取扱説明書

このたびは、給湯暖房用熱源機をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
この取扱説明書には、給湯暖房用熱源機を安全に正しく使用していただくために必要な注意事項、使用方法が記載されています。本機器を使用する前によく読み、十分に理解した上でご使用ください。
この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管し、使用方法がわからないときにお読みください。
保証書は 65 ～ 66 ページにあります。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

給湯暖房用熱源機

IT4212ARS シリーズ
IT2812ARS シリーズ
IT4212KRS シリーズ
IT4211BRS シリーズ
IT2811BRS シリーズ
IT4213LRS シリーズ
IT4212LRS シリーズ

この取扱説明書の 03 ～ 05 ページをご覧になり、ご使用の製品の品名をお確かめください。

5102171000 TI-01-y
51021710

IT series

東京ガス株式会社
〒 105-8527
東京都港区海岸 1 丁目 5 番 20 号

VEGETABLE OIL INK
Waterless Printing Naturally
この取扱説明書は地球環境に配慮し、植物油インキ（非石油系）を使用し、水なし印刷にて印刷されています。

はじめに

◆◆◆ リモコンの取扱説明書もご覧ください

給湯したり、湯はりしたりなど、本機器の操作をするには、別売のリモコンが必要です。リモコンの操作説明は、リモコンの取扱説明書に記載していますので、あわせてご覧ください。
お使いの給湯システムによっては、そのシステムにも取扱説明書が付属していることがあります。その場合は、そのシステムの取扱説明書も必ずご覧ください。

◆◆◆ 本書の使いかた

初めてお使いになるときには、ひと通りお読みください。使い方が分からなくなったときは、02 ページの「もくじ」から該当する項目を探して、そのページをご覧ください。

◆◆◆ 本書で使用する絵表示について

参照ページ
参照箇所

▶▶しくみ 仕組みの説明

ヒント 使いかたのヒント

※安全にお使いいただくためのご注意に関する絵表示については、07 ページを参照してください。

◆◆◆ 本書の構成

本書は、以下の 6 つの項目から構成されています。

- **あんしん点検について**
  ……あんしん点検に関する情報を記載しています。
- **安全のための注意**
  ……本品を使用する上での注意事項を記載しています。機器をお使いになる前に、必ずお読みください。
- **初めて使うとき**
  ……最初にお使いになる際にしていただきたい内容を記載しています。
- **機器本体の各部のなまえ**
  ……水抜き栓など、各部のなまえを記載しています。
- **メンテナンス＆サービス**
  ……凍結予防の方法や日常のお手入れ方法および、機器の症状別の対処法や故障表示について記載しています。アフターサービスを依頼される場合も、まずはここをお読みください。
- **仕様・用語集**
  ……本製品の仕様や本書に使われている用語の説明などを記載してます。

付属品：
取扱説明書（本書）
東京ガス事業所一覧

もくじ

はじめに …… 01

もくじ …… 02

品名 …… 03

あんしん点検について …… 06

安全のための注意 …… 07

初めて使うとき …… 17

機器本体の各部のなまえ …… 18

メンテナンス＆サービス …… 19
- 冬期の凍結による破損予防について …… 19
- 長期間使用しないとき …… 24
- 機器を移設・浴槽を交換したとき …… 25
- 日常の点検とお手入れ …… 26
- 故障かな？と思ったら …… 29
- 故障表示 …… 34
- アフターサービスについて …… 36

仕様・用語集 …… 37
- 仕様 …… 37
- 用語集 …… 49

Safety Precautions …… 51

Names of Parts …… 61

保証書 …… 65

品 名

お客様がご使用の給湯暖房用熱源機の品名は、機器本体の前面に表示されています。
表より、製品のタイプと型式名、機器コードを確認してください。

【品名の例】

IT4211BRS4SW3CU

この数字のないものもあります。

- AW ：全自動タイプ
- SW ：自動湯はりタイプ

◆◆◆全自動タイプ

品　名	型 式 名	機器コード
IT4212ARS5AW3TM	RUFH-E2403AH(SAH)	11-009-31-01845
IT4212ARS2AW3TM	RUFH-E2403AA(SAA)	11-009-31-01846
IT4212ARS4AW3TM	RUFH-E2403AT(SAT)	11-009-31-01847
IT4212ARS9AW3TM	RUFH-E2403AU(SAU)	11-009-31-01848
IT4212ARS5AWTM	RUFH-E2403AH(SAH)	11-009-31-01849
IT4212ARS2AWTM	RUFH-E2403AA(SAA)	11-009-31-01850
IT4212ARS4AWTM	RUFH-E2403AT(SAT)	11-009-31-01851
IT4212ARS9AWTM	RUFH-E2403AU(SAU)	11-009-31-01852
IT2812ARS5AW3TM	RUFH-E1613AH(SAH)	11-009-31-01861
IT2812ARS2AW3TM	RUFH-E1613AA(SAA)	11-009-31-01862
IT2812ARS4AW3TM	RUFH-E1613AT(SAT)	11-009-31-01863
IT2812ARS9AW3TM	RUFH-E1613AU(SAU)	11-009-31-01864
IT2812ARS5AWTM	RUFH-E1613AH(SAH)	11-009-31-01865
IT2812ARS2AWTM	RUFH-E1613AA(SAA)	11-009-31-01866
IT2812ARS4AWTM	RUFH-E1613AT(SAT)	11-009-31-01867
IT2812ARS9AWTM	RUFH-E1613AU(SAU)	11-009-31-01868
IT4212ARSAW3CM	RUFH-E2403AW(SAW)	11-009-31-01598
IT4212ARS2AW3CM	RUFH-E2403AA(SAA)	11-009-31-01599
IT4212ARS4AW3CM	RUFH-E2403AT(SAT)	11-009-31-01600
IT4212ARS5AW3CM	RUFH-E2403AH(SAH)	11-009-31-01601
IT4212ARS9AW3CM	RUFH-E2403AU(SAU)	11-009-31-01602
IT4212ARS2AW3PM	RUFH-E2403AA(SAA)	11-009-31-01608
IT4212ARS4AW3PM	RUFH-E2403AT(SAT)	11-009-31-01609
IT4212ARS5AW3PM	RUFH-E2403AH(SAH)	11-009-31-01610
IT4212ARS9AW3PM	RUFH-E2403AU(SAU)	11-009-31-01611
IT2812ARSAW3CM	RUFH-E1613AW(SAW)	11-009-31-01616
IT2812ARS2AW3CM	RUFH-E1613AA(SAA)	11-009-31-01617
IT2812ARS4AW3CM	RUFH-E1613AT(SAT)	11-009-31-01618
IT2812ARS5AW3CM	RUFH-E1613AH(SAH)	11-009-31-01619
IT2812ARS9AW3CM	RUFH-E1613AU(SAU)	11-009-31-01620
IT4212KRSAWCM	RVD-E2401AW(SAW)	11-009-31-01592
IT4211BRSAW6CU	RUFH-E2402AW(SAW)	11-009-31-01662
IT4211BRS2AW6CU	RUFH-E2402AA(SAA)	11-009-31-01663
IT4211BRS4AW6CU	RUFH-E2402AT(SAT)	11-009-31-01664
IT4211BRS5AW6CU	RUFH-E2402AH(SAH)	11-009-31-01665

品　名	型 式 名	機器コード
IT4211BRS9AW6CU	RUFH-E2402AU(SAU)	11-009-31-01666
IT4211BRS0AW6CU	RUFH-E2402AF(SAF)	11-009-31-01667
IT4211BRSAW3CU	RUFH-E2402AW(SAW)	11-009-31-01668
IT4211BRS2AW3CU	RUFH-E2402AA(SAA)	11-009-31-01669
IT4211BRS4AW3CU	RUFH-E2402AT(SAT)	11-009-31-01670
IT4211BRS5AW3CU	RUFH-E2402AH(SAH)	11-009-31-01671
IT4211BRS9AW3CU	RUFH-E2402AU(SAU)	11-009-31-01672
IT4211BRS0AW3CU	RUFH-E2402AF(SAF)	11-009-31-01673
IT4211BRSAWC	RUFH-E2402AW(SAW)	11-009-31-01674
IT4211BRS2AWC	RUFH-E2402AA(SAA)	11-009-31-01675
IT4211BRS4AWC	RUFH-E2402AT(SAT)	11-009-31-01676
IT4211BRS5AWC	RUFH-E2402AH(SAH)	11-009-31-01677
IT4211BRS9AWC	RUFH-E2402AU(SAU)	11-009-31-01678
IT2811BRSAW3CU	RUFH-E1612AW(SAW)	11-009-31-01749
IT2811BRS2AW3CU	RUFH-E1612AA(SAA)	11-009-31-01750
IT2811BRS4AW3CU	RUFH-E1612AT(SAT)	11-009-31-01751
IT2811BRS5AW3CU	RUFH-E1612AH(SAH)	11-009-31-01752
IT2811BRS9AW3CU	RUFH-E1612AU(SAU)	11-009-31-01753
IT4211BRSAW6PU	RUFH-E2402AW(SAW)	11-009-31-01779
IT4211BRS2AW6PU	RUFH-E2402AA(SAA)	11-009-31-01780
IT4211BRS4AW6PU	RUFH-E2402AT(SAT)	11-009-31-01781
IT4211BRS5AW6PU	RUFH-E2402AH(SAH)	11-009-31-01782
IT4211BRS9AW6PU	RUFH-E2402AU(SAU)	11-009-31-01783
IT4211BRS0AW6PU	RUFH-E2402AF(SAF)	11-009-31-01784
IT4211BRSAWP	RUFH-E2402AW(SAW)	11-009-31-01785
IT4211BRS2AWP	RUFH-E2402AA(SAA)	11-009-31-01786
IT4211BRS4AWP	RUFH-E2402AT(SAT)	11-009-31-01787
IT4211BRS5AWP	RUFH-E2402AH(SAH)	11-009-31-01788
IT4211BRS9AWP	RUFH-E2402AU(SAU)	11-009-31-01789
IT4213LRSAW6CU	RUFH-SE2402AW(SAW)	11-009-31-02006
IT4213LRS4AW6CU	RUFH-SE2402AT(SAT)	11-009-31-02007
IT4213LRSAW3CU	RUFH-SE2402AW(SAW)	11-009-31-02008
IT4213LRS4AW3CU	RUFH-SE2402AT(SAT)	11-009-31-02009
IT4212LRSAW3CM	RUFH-SE2403AW(SAW)	11-009-31-01654
IT4212LRS4AW3CM	RUFH-SE2403AT(SAT)	11-009-31-01655

◆◆◆自動湯はりタイプ

品　名	型 式 名	機器コード
IT4212ARS5SW3TM	RUFH-E2403AH(SAH)	11-009-31-01853
IT4212ARS2SW3TM	RUFH-E2403AA(SAA)	11-009-31-01854
IT4212ARS4SW3TM	RUFH-E2403AT(SAT)	11-009-31-01855
IT4212ARS9SW3TM	RUFH-E2403AU(SAU)	11-009-31-01856
IT4212ARS5SWTM	RUFH-E2403AH(SAH)	11-009-31-01857
IT4212ARS2SWTM	RUFH-E2403AA(SAA)	11-009-31-01858
IT4212ARS4SWTM	RUFH-E2403AT(SAT)	11-009-31-01859
IT4212ARS9SWTM	RUFH-E2403AU(SAU)	11-009-31-01860
IT2812ARS5SW3TM	RUFH-E1613AH(SAH)	11-009-31-01869
IT2812ARS2SW3TM	RUFH-E1613AA(SAA)	11-009-31-01870
IT2812ARS4SW3TM	RUFH-E1613AT(SAT)	11-009-31-01871
IT2812ARS9SW3TM	RUFH-E1613AU(SAU)	11-009-31-01872
IT2812ARS5SWTM	RUFH-E1613AH(SAH)	11-009-31-01873

品名（つづき）

品　名	型 式 名	機器コード
IT2812ARS2SWTM	RUFH-E1613AA(SAA)	11-009-31-01874
IT2812ARS4SWTM	RUFH-E1613AT(SAT)	11-009-31-01875
IT2812ARS9SWTM	RUFH-E1613AU(SAU)	11-009-31-01876
IT4212ARSSW3CM	RUFH-E2403AW(SAW)	11-009-31-01603
IT4212ARS2SW3CM	RUFH-E2403AA(SAA)	11-009-31-01604
IT4212ARS4SW3CM	RUFH-E2403AT(SAT)	11-009-31-01605
IT4212ARS5SW3CM	RUFH-E2403AH(SAH)	11-009-31-01606
IT4212ARS9SW3CM	RUFH-E2403AU(SAU)	11-009-31-01607
IT4212ARS2SW3PM	RUFH-E2403AA(SAA)	11-009-31-01612
IT4212ARS4SW3PM	RUFH-E2403AT(SAT)	11-009-31-01613
IT4212ARS5SW3PM	RUFH-E2403AH(SAH)	11-009-31-01614
IT4212ARS9SW3PM	RUFH-E2403AU(SAU)	11-009-31-01615
IT2812ARSSW3CM	RUFH-E1613AW(SAW)	11-009-31-01621
IT2812ARS2SW3CM	RUFH-E1613AA(SAA)	11-009-31-01622
IT2812ARS4SW3CM	RUFH-E1613AT(SAT)	11-009-31-01623
IT2812ARS5SW3CM	RUFH-E1613AH(SAH)	11-009-31-01624
IT2812ARS9SW3CM	RUFH-E1613AU(SAU)	11-009-31-01625
IT4212KRSSWCM	RVD-E2401AW(SAW)	11-009-31-01593
IT4211BRSSW6CU	RUFH-E2402AW(SAW)	11-009-31-01679
IT4211BRS2SW6CU	RUFH-E2402AA(SAA)	11-009-31-01680
IT4211BRS4SW6CU	RUFH-E2402AT(SAT)	11-009-31-01681
IT4211BRS5SW6CU	RUFH-E2402AH(SAH)	11-009-31-01682
IT4211BRS9SW6CU	RUFH-E2402AU(SAU)	11-009-31-01683
IT4211BRS0SW6CU	RUFH-E2402AF(SAF)	11-009-31-01684
IT4211BRSSW3CU	RUFH-E2402AW(SAW)	11-009-31-01685
IT4211BRS2SW3CU	RUFH-E2402AA(SAA)	11-009-31-01686
IT4211BRS4SW3CU	RUFH-E2402AT(SAT)	11-009-31-01687
IT4211BRS5SW3CU	RUFH-E2402AH(SAH)	11-009-31-01688
IT4211BRS9SW3CU	RUFH-E2402AU(SAU)	11-009-31-01689
IT4211BRS0SW3CU	RUFH-E2402AF(SAF)	11-009-31-01690
IT2811BRSSW3CU	RUFH-E1612AW(SAW)	11-009-31-01754
IT2811BRS2SW3CU	RUFH-E1612AA(SAA)	11-009-31-01755
IT2811BRS4SW3CU	RUFH-E1612AT(SAT)	11-009-31-01756
IT2811BRS5SW3CU	RUFH-E1612AH(SAH)	11-009-31-01757
IT2811BRS9SW3CU	RUFH-E1612AU(SAU)	11-009-31-01758
IT4211BRSSW3PU	RUFH-E2402AW(SAW)	11-009-31-01790
IT4211BRS2SW3PU	RUFH-E2402AA(SAA)	11-009-31-01791
IT4211BRS4SW3PU	RUFH-E2402AT(SAT)	11-009-31-01792
IT4211BRS5SW3PU	RUFH-E2402AH(SAH)	11-009-31-01793
IT4211BRS9SW3PU	RUFH-E2402AU(SAU)	11-009-31-01794
IT4211BRS0SW3PU	RUFH-E2402AF(SAF)	11-009-31-01795
IT2811BRSSW3PU	RUFH-E1612AW(SAW)	11-009-31-01830
IT2811BRS2SW3PU	RUFH-E1612AA(SAA)	11-009-31-01831
IT2811BRS4SW3PU	RUFH-E1612AT(SAT)	11-009-31-01832
IT2811BRS5SW3PU	RUFH-E1612AH(SAH)	11-009-31-01833
IT2811BRS9SW3PU	RUFH-E1612AU(SAU)	11-009-31-01834
IT4213LRSSW6CU	RUFH-SE2402AW(SAW)	11-009-31-02010
IT4213LRS4SW6CU	RUFH-SE2402AT(SAT)	11-009-31-02011
IT4213LRSSW3CU	RUFH-SE2402AW(SAW)	11-009-31-02012
IT4213LRS4SW3CU	RUFH-SE2402AT(SAT)	11-009-31-02013
IT4212LRSSW3CM	RUFH-SE2403AW(SAW)	11-009-31-01656
IT4212LRS4SW3CM	RUFH-SE2403AT(SAT)	11-009-31-01657

あんしん点検について

〜〜機器の長期間ご使用時の「あんしん点検」（有料）のおすすめ〜〜

お買い上げいただいた製品は、長期間ご使用いただくと、経年劣化によって安全上支障が生じるおそれがあります。
本製品には、標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障がなく使用できる期間として「設計上の標準使用期間」を設けています。「設計上の標準使用期間」を超えてのご使用は、経年劣化による事故発生の危険度が高くなりますので、継続して使用される場合は、安全確保のために「あんしん点検」（有料）を受けてください。

◆◆◆ あんしんについて

あんしん点検は、東京ガスが本点検作業を委託している協力企業の作業員が行います。

【点検の内容について】

- あんしん点検は、お客さまの任意で受けていただく有料の点検です。
- 点検基準は、長期使用製品安全点検制度で定められた法定点検の基準を参考に、当社で設定しています。
- あんしん点検の結果は、点検作業票にてお知らせします。
- 点検の結果、整備が必要と判明した場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備（修理を含む）を行って使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。
- あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、継続的な性能維持や故障予防を保証するものではありません。

【点検料金および点検の依頼先について】

点検料金は、お客さまにご負担いただきます。また点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用（有料）が発生いたします。
なお、あんしん点検の料金設定等については、下記のアドレスからご覧いただけます。（インターネットでご確認できない場合は、下記お問合せ先にご連絡ください。）

http://home.tokyo-gas.co.jp/

あんしん点検のお申し込み・お問合せは、下記までご連絡ください。

東京ガスお客さまセンター
受付時間／月曜日〜土曜日（祝日除く）9:00 〜 19:00
TEL：**03-3344-9199**

ヒント
製造年月は、機器前面の銘板で確認できます。
📖P08「ガスの種類と電源を確認」

◆◆◆ 設計上の標準使用期間について

本製品は、設計上の標準使用期間を 10 年と算定しております。
設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください（無償修理保証期間は保証書を参照願います）。

安全のための注意

この取扱説明書では、誤った取り扱いによる危害・損害の程度を次のように区分しています。お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容は下図の通りです。よく理解して正しくお使いください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示は本機器を安全・快適に使うため、是非理解していただきたい事柄を示しています。

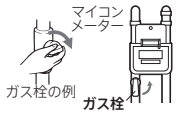
◆◆◆絵表示の意味

一般的な危険 警告 注意
高温注意
感電注意
一般的な禁止
触れないこと
ぬれ手禁止
分解禁止
必ず行うこと
必ずアース線を接続する

⚠危険

ガス漏れ時の処置

- ただちに使用をやめガス栓およびマイコンメーターのガス栓を閉じ、窓や戸を開けてから、もよりの東京ガスへご連絡ください。



使用をやめガス栓およびマイコンメーターのガス栓を閉じる。

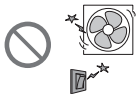
窓を開ける。

もよりの東京ガスに連絡する。

- 係員が処置するまでは、電気製品（換気扇など）のスイッチ操作や電源プラグの抜き差し、マッチ・ライターなどの使用は絶対にやめてください。周辺の電話も使用しないでください。火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

火を使ったり電源プラグの抜き差し禁止

電気器具（換気扇など）のスイッチの「入・切」禁止



ガスのにおいのする場所での電話の使用禁止

⚠危険

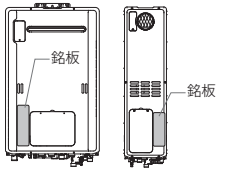
屋内に設置しない

- この機器は屋外設置用です。屋内や浴室内に設置しないでください。
  不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。

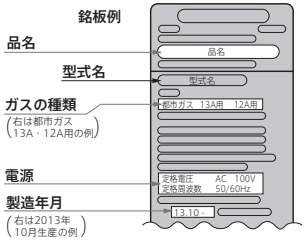
⚠警告

ガスの種類と電源を確認

- 機器前面の、下図に示す位置に銘板を貼付してあります。
- 銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）を確認してください。銘板に表示のガス、電源以外では使用しないでください。異なるガスや電源で使用すると、爆発点火や不完全燃焼により、一酸化炭素中毒や火災、機器破損の原因となります。
  不明な点はお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスへご連絡ください。
  移設や移転の場合は、販売店／転居先のガス事業者（供給業者）へご相談ください。
  📖P36「サービスを依頼されるとき」

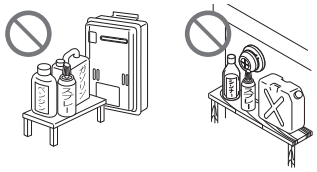


銘板例



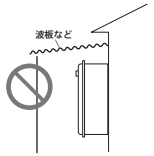
引火のおそれのあるものの使用禁止 スプレー缶厳禁

- 機器や排気口、排気筒、排気筒トップ、給排気筒トップの周囲には、引火しやすいもの（ガソリン、ベンジン、灯油など）やスプレーなどを置いたり、使用したりしないでください。
  引火して、火災のおそれがあります。
- 機器や排気口、排気筒、排気筒トップ、給排気筒トップの周囲にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベなどを置かないでください。熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



囲い禁止

- 増改築などによって機器本体や排気筒、排気筒トップ、給排気筒トップを屋内の状態にしたり、ビニールや波板などで囲いをしないでください。
  不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



給排気筒トップや機器本体の給排気部がシートで覆われているときは使用しない

- 外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など、シートで給排気筒トップや機器本体の給排気部を覆うことがあります。このような場合は使用しないでください。
  不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

工事は資格必要

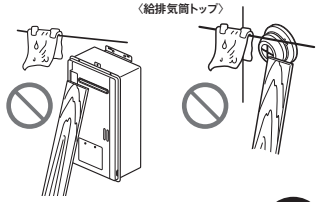
- この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

安全のための注意（つづき）

⚠警告

可燃物に注意

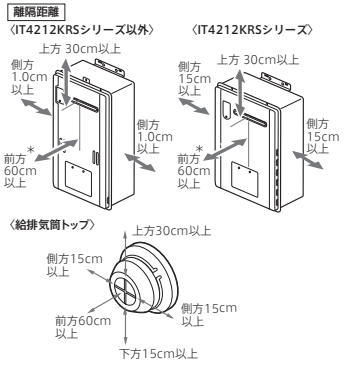
- 機器や排気口、排気筒、排気筒トップ、給排気筒トップの周囲には燃えやすいもの（木材、紙、洗濯物）を置かないでください。
  火災など、思わぬ事故の原因となります。



- 機器や排気筒トップ、給排気筒トップは、周囲のものとは常に下記の離隔距離を確保してください。

必ず行う

離隔距離



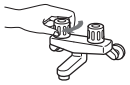
※上図は一例です。いずれの機種も、排気筒を接続している場合を除き、機器本体排気部からその排気の吹き出し方向に 60cm 以上の離隔距離が必要です。また、点検・修理作業のための空間として、機器本体前方には 60cm 以上の空間が必要になります。

異常時の処置
地震・火災などの緊急のときには

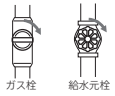
- 機器の異常（排気口や排気筒トップ、給排気筒トップから煙が出るなど）、臭気、異常音、水漏れなどに気づいたときは、すぐに使用をやめ、下記の処置をして、販売店またはもよりの東京ガスへご連絡ください。
  P36「サービスを依頼されるとき」

①運転スイッチを「切」にする。

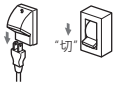
②給湯栓を閉じる。



③ガス栓・給水元栓を閉じる。



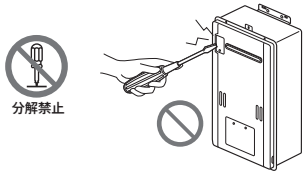
④電源プラグを抜く（分電盤の専用ブレーカーを「切」にしてください）。



- 地震、火災など緊急のときも同様に処置してください。
  ※これはガスが漏れたときの処置方法ではありません。ガス漏れに気づいたときは…
  P07「ガス漏れ時の処置」

改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行なわないでください。改造・分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因となります。



⚠警告

入浴時のご注意

- 浴槽に潜らないでください。
  思わぬ事故の原因となります。

ガスの接続について

- この機器のガス接続はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスへ依頼してください。

子供に対する注意

- 浴室で遊ばせないでください。
  おふろを沸かしているときなど浴槽に水のある場合は特に、浴槽に落ちておぼれるなど思わぬ事故の原因となることがあります。
- 子供だけで入浴させたり、お湯を使わせたりしないでください。
  思わぬ事故の原因となります。
- 浴槽に潜ったりしないように注意してください。
  思わぬ事故の原因となります。
- 子供を熱源機の周囲や直下で遊ばせないでください。
  思わぬ事故の原因となります。

許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

優先スイッチ使用時のご注意
（リモコンを 2 個設置している場合）

必ず行う

- 優先スイッチを使用する場合、他の人がお湯を使用していないか確認してください。
  優先を切り替え給湯温度が変更されると、思わぬ熱いお湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故やけがの原因となります。
- 優先を切り替えたときには、必ずリモコンで給湯設定温度を確認してください。
  温度が変わっていることがあります。

使用中の外出・就寝禁止

- 給湯したまま、就寝・外出はしないでください。
  思わぬ事故の原因となります。

他の機器との接続について

- 別売の「ソーラー対応ユニット」が適合する製品は、これを使うことで太陽熱温水器と接続することができます。それ以外の製品は太陽熱温水器と接続することができません。
  接続して使用すると、高温のお湯が出てやけどの原因となります。

入浴するときはやけどに注意

- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。
- 追いだきのときは循環アダプターが熱くなったり循環アダプターから熱いお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。

浴槽のふたに関する注意

- 浴槽のふたの上に乗ったり、手をついたりしないでください。
  ふたが外れておぼれたり、やけどをするなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

安全のための注意（つづき）

⚠警告

お湯を使うときはやけどに注意

- お湯を使うときは給湯温度表示を確認し、必ず手でお湯の温度を確認し、湯温が安定してから使用してください。
- 以下の場合には、一瞬熱いお湯が出ることがありますので、出始めのお湯は体にかけないでください。特に小さなお子さまには一人でお湯を使わせないでください。
  - お湯を一度止めて再度使用するとき
  - 高温のお湯を使った直後
  - お湯の流量を急に少なくした場合
  - 夏期など水温の高い時期にお湯をごく少流量で使おうとした場合
  - トイレの水を流すなどして給水圧が変化した場合
- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどをしたり冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。
- 給湯栓でお湯の流量を少なくしすぎると、熱いお湯が出たり、水になったりします。特に水温が高いときは、給湯温度を低くしても湯量が少ないと熱いお湯が出ることがあります。こんなときは湯量を増やすか、水と混ぜてお使いください。
- 給湯使用中はシャワー金具や水栓本体が熱くなりますので、やけどにご注意ください。

無理な力を加えない

- 機器本体や付帯設備の上に乗ったり、重量物をのせたりしないでください。けがや故障の原因となります。機器に無理な力が加わると、破損や故障の原因となります。

電気事故防止のために

- 電源コードを加工したり無理な力を加えないでください。感電、ショートや発火のおそれがあります。

- 電源プラグは確実に差し込んでください。差し込みがゆるいと、感電や火災の原因になります。

- 傷んだ電源プラグ・電源コードは使用しないでください。

- 感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。

- 電源プラグのコンセント差込部の刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭いてください。火災の原因になります。

アース必要

- この機器はアースが必要です。アースされていることを確認してください。
  故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

⚠警告

低温やけどに注意

- 床暖房の上に長時間座ったり、寝そべっていると、低温やけどを起こすおそれがあります。
  特に次のような方が使用する場合は、周囲の人の気配りが必要です。
  ①乳幼児・寝たきりのお年寄り・ご病人など、自分の意志で体を動かせない方
  ②疲労の激しいとき
  ③皮膚の弱い方
  ④皮膚感覚の弱い方
  ⑤お酒や睡眠薬を飲まれた方

⚠注意

つららに注意

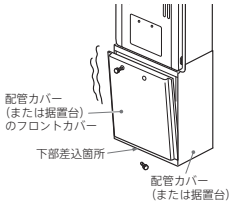
- 冬期は特に、排気口の下に立ち入らないでください。積雪時の雪解け水や排気中の水分が凍結して、つららとなって落下し、けがの原因となります。

高温のお湯を水と混ぜて使うとき

- やけど防止のため、お湯を出すときは先に給水栓を開け、次に給湯栓を開けてください。お湯を止めるときは先に給湯栓を閉じ、次に給水栓を閉じてください。（混合水栓の場合）

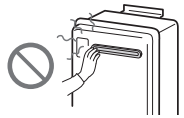
配管カバー・据置台について

- 配管カバーや据置台を使用している場合、そのフロントカバーが確実に固定されていることを確認してください。また、定期的に点検してください。
  化粧ビスがゆるんだり外れていたり、下部差込箇所が外れているとフロントカバーが外れて思わぬ事故の原因となります。
  配管カバーや据置台のフロントカバーの固定については…
  📖P23「配管カバー・据置台のフロントカバーについて」



排気口、排気筒トップ、給排気筒トップでのやけどに注意

- 使用中、使用直後は排気口や排気筒トップ、給排気筒トップとその周辺は高温になりますので、さわらないでください。



電源コードを持って引き抜かない

- 電源コードを引っぱってプラグを抜かないでください。
  コードが断線して発熱・発火の原因となります。

用途について

- 台所、洗面所、浴室などの給湯やシャワー、おふろへの湯はりおよび暖房以外の用途には使用しないでください。
  これ以外の用途に使用すると、思わぬ事故の原因となります。

安全のための注意（つづき）

⚠注意

排気口や排気筒、排気筒トップ、給排気筒トップに指や棒を入れない

- 排気口や排気筒、排気筒トップ、給排気筒トップに指や棒を入れないでください。
  けがや故障の原因となります。

パネルヒーターによるやけどに注意

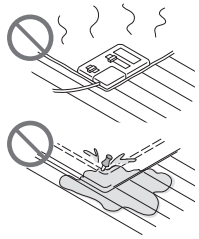
- パネルヒーターの表面はさわらないでください。やけどのおそれがあります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。

ドレン排出口・オーバーフローから排出される水について

- ドレン排出配管・オーバーフロー配管から排出される水を飲料用・飼育用などに使用しないでください。

床暖房の破損防止のために

- 床暖房の上に電気カーペットを敷かないでください。床材の割れ·そり·隙間の原因となります。
- カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。



機器を廃棄する場合（乾電池に関する注意）

- 機器を取り替えた場合、これまでご使用になっていた機器は専門の業者に処理を依頼してください。
  お客様が処理する場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正しく処理してください。

入浴剤や洗剤などについて

- 硫黄、酸、アルカリ、塩を含んだ入浴剤や洗剤、また沈殿物が生じるような入浴剤は使用しないでください。
  熱交換器の腐食や故障の原因となります。
  異常に気づいたときはすぐに使用をやめてください。
- 泡の出る入浴剤は使用しないでください。
  使用した場合、循環不良となりおふろ沸かしができません。
- 塩素系のカビ洗浄剤、酸性の浴室用洗剤、塩素系または酸性の消臭剤、塩などが機器やガス管などにかかったときは、すぐに十分に水洗いをしてください。
  思わぬ事故や故障の原因となります。
- 入浴剤や洗剤は、その商品の注意文をよく読んでご使用ください。

お願い

人工炭酸泉装置について

- 人工炭酸泉装置は、炭酸ガス（二酸化炭素）を高い濃度で浴槽のお湯に溶かし込むため、お湯が弱酸性となります。そのため、追いだきを行うと機器内の配管や熱交換器、浴槽に取り付けられている循環アダプター等が変色したり腐食したりする場合があります。

水による着色について

- 給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い、よくすすぐと発色しにくくなります。

お願い

断水時のご注意

- 断水すると使用できません（追いだきすることもできません）。使用中に断水すると停止します。
  暖房運転は使用できますが、補水運転に入ると停止し、使用できません。
- 給湯栓や給水栓を開けたままにしておくと、水の供給が復帰したときに、水が流れたままになります。ご注意ください。
- 故障表示が出ることがあります。「運転」を「切」にして再度「入」にし、水の供給が復帰するまでお待ちください。
  📖P29「故障かな？と思ったら」
- 水の供給が復帰したら、出始めの水は使用せず、十分に水を流してから使用してください。
  断水中の給水配管内には、飲用や調理用に適さない水が留まっていることがあります。

停電時のご注意

- 停電すると使用できません。使用中に停電すると停止します。
- 給湯中に停電するとお湯が水になります。ご注意ください。
- 電力の供給が復帰したときに、現在時刻が表示されていなかったり、給湯温度設定が変わっていることがあります。表示を確認して、必要に応じて調節してください。
- 冬期など凍結のおそれがある場合は、水抜きをしてください。
  停電すると凍結予防ヒーターや自動ポンプ運転が働かなくなり、通常の寒さでも機器内の水が凍結して、破損事故・水漏れ故障の原因となることがあります。
  📖P20「対策－3…水抜きによる方法」

水栓について

- 水栓にはいろいろな種類があります。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。お湯の温度が不安定になります。
- サーモスタット式水栓をご使用の場合はリモコンの給湯温度はご希望の温度（ハンドルの温度）より高めにしてください。

サーモスタット式水栓

電源を切らない

- 長期間ご使用にならない場合以外は、電源プラグをコンセントから抜いたり、分電盤の専用ブレーカーを落としたりしないでください。
  冬期は特に、電源を切ると凍結予防ヒーターが作動しなくなり、凍結などの故障の原因となることがあります。

循環アダプターをタオルでふさがない

- 浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがないでください。
  循環不良でおふろ沸かしができません。
- 浴槽内でタオルを使ったり、衣類やペットなどを洗わないでください。
  毛や糸くずが吸い込まれて機器故障の原因となります。

雷時の注意

- 雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、電源プラグを抜くか、分電盤の専用ブレーカーを「切」にしてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
- 感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグがぬれていないことを確認した上でコンセントにしっかり差し込んでください。
- 電源プラグを差し込んだ（分電盤の専用ブレーカーを「入」にした）後は、現在時刻や温度の設定を再度行ってください。

ぬれ手禁止

冬期または長期間使用しないとき

- 冬期は凍結予防をしてください。
  📖P19「冬期の凍結による破損予防について」
- 長期間使用しないときは水抜きをしてください。
  📖P24「長期間使用しないとき」

適合する別売品以外は使わない

- この機器に適合する別売品以外は使用しないでください。
  事故や故障の原因となります。

安全のための注意（つづき）

お願い

運転「切」で給湯栓を開けない

- 運転スイッチが「切」の状態で給湯栓を開けないでください。水を使用する場合、混合水栓は「水」の位置で使用してください。
  「湯」の位置で水を使用するなどして機器内配管に冷水が流れると、機器内が結露して機器の寿命を短くします。

点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火をリモコンの表示で確認してください。

一般家庭用品です

- 業務用のような使用頻度の高い使い方をすると機器の寿命を短くします。

積雪時のご注意

- 機器や排気口や排気筒トップ、給排気筒トップが雪でふさがれないようにご注意ください。ふさがれそうなときには、安全に注意して、除雪してください。雪でふさがれると、故障の原因となります。こんなときは…
  📖P36「サービスを依頼されるとき」
- 屋根から落ちた雪が機器や排気口や排気筒トップ、給排気筒トップをふさいだり破損するおそれのあるときは、屋根の雪止め工事を工事店に依頼してください。

日本国内向けです

- 海外での設置および使用はしないでください。
  思わぬ事故の原因となります。この場合は当社では責任を負いかねます。

シャワーの取り扱いに注意

- シャワーヘッドを浴槽やシンク、洗面器の中に浸けたまま放置しないでください。
  断水時など水圧が弱くなった場合に、機器内に逆流するなどして思わぬ故障の原因となることがあります。

リモコンの取り扱いに注意

- 台所リモコンは防水タイプではありません。浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。
  故障の原因となります。
- お子様がいたずらしないよう、注意してください。
- 炊飯器、電気ポットなどの蒸気や温風をあてないようにしてください。
  故障の原因となります。
- リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。
  故障の原因となります。

リモコンからテレビやラジオを遠ざけてください

- テレビやラジオはリモコンおよびリモコン線から1m以上離してください。
  画像や音声が乱れることがあります。

燃焼排ガスについて

- 植物やペットなど、燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは、排気口や排気筒トップ、給排気筒トップの周囲に置かないでください。
- 増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
  変色・破損・腐食の原因となります。

運転停止時の注意

- 機器を使用中、ガス栓を操作して消火しないでください。
- 機器を使用中、電源プラグをコンセントから抜いて消火しないでください。

温泉水や自家用井戸水で使うと

- 水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合があります。

飲用・調理用に使うときは

- 機器内に長時間たまった水や朝一番にお使いのお湯は、飲んだり調理に用いないで、雑用水としてお使いください。

お願い

お手入れの際の注意

- お手入れは機器が冷めてから行ってください。
- けがには十分ご注意ください。
- 機器やリモコンのお手入れの際には、台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。
  表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。
- 浴槽、洗面台はこまめに掃除して清潔にお使いください。

機器の設置状態についての確認

- 下記の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスに連絡し、設置場所を変更してください。
  ①機器は水平に（正しい角度で）設置されていますか？
  ②機器の給排気部（機器本体の給気口や排気口、排気筒トップ、給排気筒トップなど）は、冷・暖房や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？そうでないと正常な燃焼の妨げになることがあります。
  ③棚の下など落下物の危険のあるところを避けて設置してありますか？
  ④メンテナンスできる場所に設置されていますか？そうでないとメンテナンスをお断りすることがあります。
  ⑤排気口や排気筒トップ、給排気筒トップへの積雪や、屋根から落ちた雪で排気口が閉塞されることがありませんか？不完全燃焼の原因になります。

増改築時の注意

- 機器や排気筒トップ、給排気筒トップの周囲に塀など設ける場合は、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスへご相談ください。
  塀などの形状・大きさ・機器や排気筒トップ、給排気筒トップからの距離によっては、機器の正常な燃焼を妨げることがあります。また、機器の前方には点検・修理作業のための空間が必要です。

初めて使うとき

ヒント

配管カバーや据置台を使用している場合は、最初にそれらのフロントカバーを外し、最後に元どおり確実に固定してください。
取り外しかた・取り付けかたについては…
P23「配管カバー・据置台のフロントカバーについて」

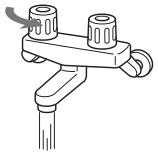
初めて使うときは、次の準備が必要です。

1… 給水元栓を全開にする。

機器の下方に給水元栓があります。

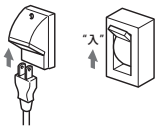
2… 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉じる。

お湯の使用場所。
すべての給湯栓で、確認してください。



3… 電源プラグをコンセントに差し込む。（分電盤の専用ブレーカーを「入」にしてください）。

機器付近の壁・分電盤。



4… ガス栓を全開にする。

機器の下方にガス栓があります。

⚠ 警告

ぬれた手で電源プラグをさわらない

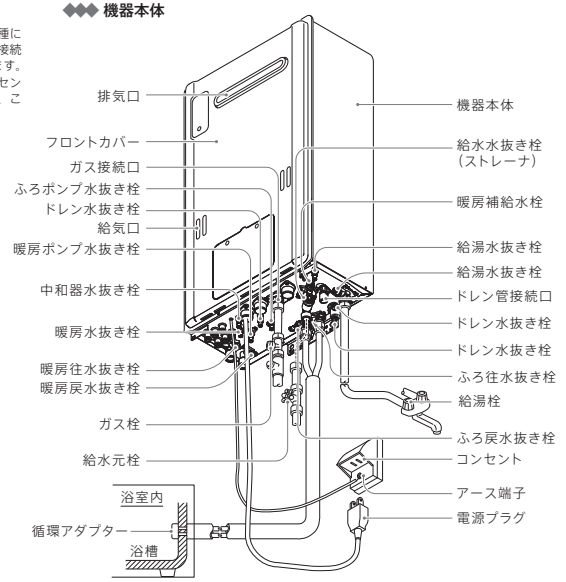
- 電源プラグをコンセントに差し込む際は、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。

機器本体の各部のなまえ

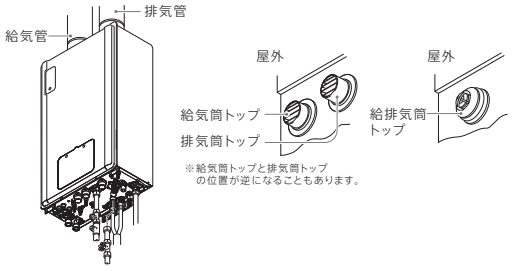
ヒント

図は機器の設置の一例です。機種により外観や設置形態、排気部・接続部の形状や位置などが異なります。
また、給水元栓・ガス栓・コンセント・給湯栓・配管の形状などは、この図と異なることがあります。

◆◆◆ 機器本体



IT4211BRS0 シリーズ



冬期の凍結による破損予防について

暖かい地域でお使いのお客様も、必ずお読みください。

⚠注意

- 冬期は暖かい地方でも、機器や配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を予防するために、次のような処置をお取りください。
- 外気温が極端に低く（－ 15 ℃以下）なったり、そうでなくても風のあるときには、「対策－ 1」では凍結予防ができなくなります。そのような場合には、「対策－ 2」「対策－ 3」を行ってください。
- 冬期に長期間機器を使用しないときは、必ず「対策－ 3」を行ってください。
- 凍結による故障の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

◆◆◆ 対策－ 1…凍結予防ヒーターと凍結予防運転による方法

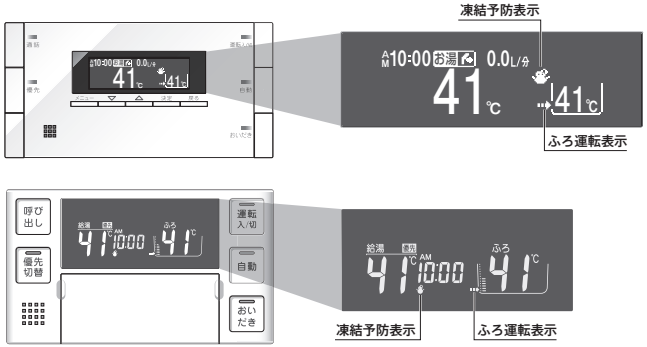
この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーター（給湯側）と凍結予防運転動作（ふろ側・暖房側の自動ポンプ運転）が組み込まれています。

①電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
抜けていると作動しませんので注意してください。

②浴槽に水を張っておいてください。
水位が、循環アダプター上端から上に 5cm 以上まであることを確認してください。

外気温が下がると…
自動的に凍結予防ヒーターが作動します。
凍結予防運転を開始すると、浴室リモコンと台所リモコンに凍結予防表示やふろ運転表示が点灯します。（ふろ運転表示の点灯しないリモコンもあります）

ヒント
凍結予防運転中は、リモコンの表示画面に燃焼表示が点灯することがあります。



ヒント
サーモスタット式やシングルレバー式の混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。
シャワーヘッドから水を流す場合、シャワーヘッドが浴槽内に落ち込まないような位置で固定してください。

◆◆◆ 対策－ 2…給湯栓から水を流す方法

給湯栓から水を流すことにより、機器本体だけでなく給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。
ただし、ふろ側・暖房側は自動ポンプ運転により凍結を予防しますので、「対策－ 1」は必ず同時に行ってください。

①リモコンの運転スイッチを「切」にします。
②ガス栓が全開になっていることを確認する。(暖房の凍結予防のため)
③おふろの給湯栓を開け、1 分間に約 400 ミリリットルの水を流しておいてください。
※浴槽に水を流すと、浴槽から水があふれることがあります。

⚠注意

- 流量（水の出具合）が不安定になることがあります。念のため、30 分ぐらい後にもう一度流量（水の出具合）をご確認ください。
- サーモスタット式やシングルレバー式の混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。

ヒント
配管カバーや据置台を使用している場合、あらかじめそれらのフロントカバーを取り外しておいてください。
P23「配管カバー・据置台のフロントカバーについて」

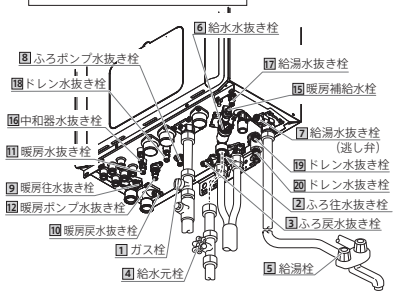
◆◆◆ 対策－ 3…水抜きによる方法

機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときにも、必ずこの「対策－ 3」の水抜きを行ってください。

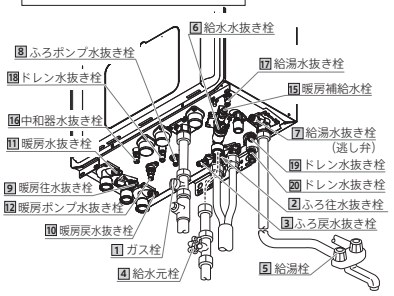
- 使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。
- パイプシャフト設置の場合、パイプシャフト内に水をこぼさないよう、排水を容器などで受けてください。

※給湯側、ふろ側、暖房側の順に行います。

IT4211・IT2811 シリーズのうち 品名末尾が CU・PU のタイプ

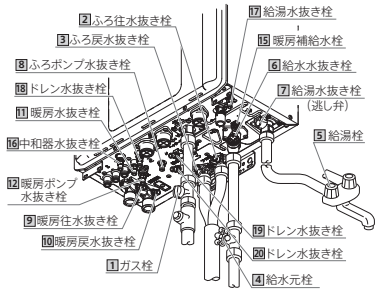


IT4211・IT2811 シリーズのうち 品名末尾が C・P のタイプ

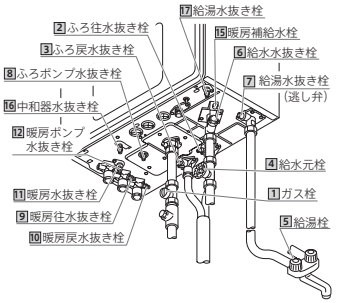


冬期の凍結による破損予防について（つづき）

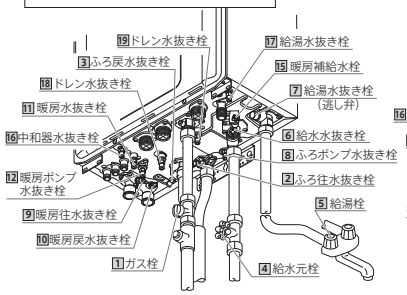
IT4212・IT2812ARS シリーズのうち品名末尾が CM・PM のタイプ



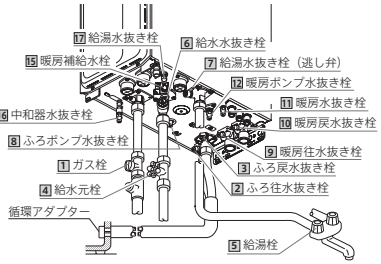
IT4212KRS シリーズ



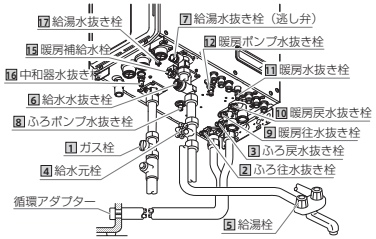
IT4212・IT2812ARS シリーズのうち品名末尾が TM のタイプ



IT4212LRS シリーズ



IT4213LRS シリーズ



ヒント

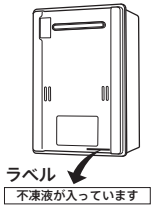
手順⑤について

浴槽が機器より高い位置にある（2階に浴槽を設置など）場合は、ふろ往水抜き栓を開けてから、浴室リモコンのおいだきスイッチを押して（「入」にする）、ふろ往水抜き栓から水（お湯）が出てくることを確認してください。

ヒント

不凍液の確認

不凍液が入っている場合、下記のようなラベルが貼ってあります。



ヒント

配管カバーや据置台を使用している場合、全ての水抜き作業が終了したら、配管カバーや据置台のフロントカバーを元どおり確実に固定してえください。取り付け方については…📖P23「配管カバー・据置台のフロントカバーについて」

◆◆◆ 1…給湯側の水抜き

①リモコンの運転スイッチを「切」にします。（電源プラグはまだ抜かないでください）
②ガス栓[1]を閉じます。
③給水元栓[4]を閉じます。
④給湯栓[5]をすべて（シャワーなどを含む）開けてください。
⑤給水水抜き栓[6]・給湯水抜き栓[7]・[17]を開けてください。

◆◆◆ 2…ふろ側の水抜き

①ガス栓[1]を開けてください。
②給水元栓[4]が閉じてあることを確認します。
③浴槽の水を排出してください。（浴槽の排水栓を開けてください）
④浴室リモコンの運転スイッチを押して（「入」にする）ください。
表示画面が点灯します。
⑤浴室リモコンのおいだきスイッチを押して（「入」にする）、浴槽の循環アダプターから水（お湯）が出てくることを確認してください。
⑥排水が止まったら再度おいだきスイッチを押してください。
※すぐに排水が止まった場合でも、最初においだきスイッチを押してから約3分はそのままにしておいてください。
※排水運転のまま数分間放置すると表示画面に故障表示が点滅する場合がありますが異常ではありません。
⑦ふろ往水抜き栓[2]・ふろ戻水抜き栓[3]・ふろポンプ水抜き栓[8]を開けてください。
⑧中和器水抜き栓[16]・ドレン水抜き栓[18]・[19]・[20]を開けてください。（ドレン水抜き栓のない機器もあります）
⑨ガス栓を閉じてください。

以上の操作で、機器内の水が排出されますので、次にお使いになるまで給湯栓は開けたままにしておいてください。
ふろの水抜きを行った後は、浴槽に水を流し込まないでください。

◆◆◆ 3…暖房側の水抜き

※暖房側の《水抜き》は、不凍液が入っていない場合に長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く（分電盤の専用ブレーカーを「切」にする）ときのみ行ってください。
※不凍液が入っている場合は、水抜きを行わないでください。不凍液注入の有無は機器本体のフロントカバー右下に貼ってあるラベルでご確認ください。
①ガス栓[1]を・給水元栓[4]が閉じてあることを確認します。
②暖房水抜き栓[9]・[10]・[11]、暖房ポンプ水抜き栓[12]を開けてください。
※リモコンの表示画面に故障表示が点灯しますが異常ではありません。
③すべての水抜き栓から排水されたことを確認し、すべての水抜き栓を閉じてください。
④電源プラグを抜いてください。（分電盤の専用ブレーカーを「切」にしてください）

冬期の凍結による破損予防について（つづき）

▶▶しくみ

給水元栓を開けると、自動的に暖房側にも通水します。
暖房補給水栓を閉めていると、暖房側への通水ができません。
※不凍液を使用している場合、暖房補給水栓は閉じてください。

◆◆◆ 水抜きした機器を、次に使うとき

はじめてご使用になる場合や、水抜き後の再使用の場合は機器に通水してください。
※再度使う場合の「通水」は、給湯側から行ってください。
※通水を行う前に、必ずすべての水抜き栓を閉じてください。
ただし、暖房補給水栓15は閉じないでください。

◆◆◆ 1…給湯側への通水

①給湯栓5をすべて（シャワーなどを含む）閉じてください。
②給水元栓4を全開にしてください。
すべての水抜き栓から水がもれていないか確認してください。

◆◆◆ 2…ふろ側への通水

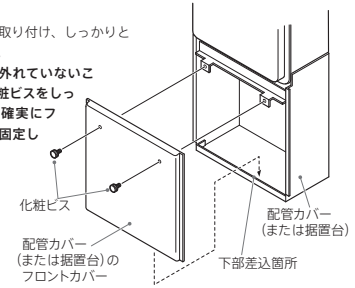
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
（分電盤の専用ブレーカーを「入」にしてください）
②リモコンの運転スイッチが「切」になっている（表示画面が消灯している）ことを確認した後、ガス栓1を全開にしてください。
③リモコンの運転スイッチを押して（「入」にする」）ください。表示画面が点灯したら自動スイッチを押すと（「入」にする」）自動的に注水されます。
表示画面に燃焼表示が点灯し、浴槽の循環アダプターからお湯が出ることを確認してください。
④もう一度自動スイッチを押すと（「切」にする」）、自動湯はりを中止します。

◆◆◆ 3…機器への通水が終了したら、運転スイッチを押して（「切」にする」）、表示画面が消灯するのを確認してください。

◆◆◆ 配管カバー・据置台のフロントカバーについて

■ フロントカバーの外しかた
①化粧ビス 2 本をゆるめ、フロントカバーより取り外す。
②フロントカバーを上方に持ち上げて、取り外す。

■ フロントカバーの取り付けかた
①フロントカバーの下部差込箇所を配管カバーや据置台の下部差込箇所に差し込む。
②化粧ビス 2 本を取り付け、しっかりとしめて固定する。
※下部差込箇所が外れていないことを確認し、化粧ビスをしっかりと締めて、確実にフロントカバーを固定してください。



ヒント
右図は一例です。実際の配管カバー」や据置台は、形状が右図とは異なることがあります。

長期間使用しないとき

ヒント
配管カバーや据置台を使用している場合は、それらのフロントカバーをあらかじめ取り外してください。
取り外しかたについては…
📖P23「配管カバー・据置台のフロントカバーについて」

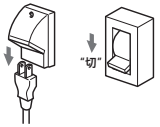
長期間ご使用にならない場合は、次のことを行っておいてください。

1… ガス栓を閉じる。
機器の下方にガス栓があります。

2… 給水元栓を閉じる。
機器の下方に給水元栓があります。

3… 機器の水抜きをする。
📖P20「対策－ 3…水抜きによる方法」

4… 電源プラグが抜いてある（分電盤の専用ブレーカーが「切」になっている）ことを確認する。
機器付近の壁・分電盤。



⚠警告
ぬれた手で電源プラグをさわらない
● 電源プラグをコンセントから抜く際は、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。

機器を移設・浴槽を交換したとき

全自動タイプをお使いのお客様で増・改築などで浴槽を買い替えた場合や機器の設置場所を移動した場合は、新しい浴槽サイズなどを機器に記憶させる必要があります。古い浴槽サイズについての記憶内容の消去と、新しい浴槽での自動運転の試運転を行ってください。操作方法については、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

ヒント

機器本体には安全に関する注意ラベルが貼ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルについては販売店にお問い合わせください。

日常の点検とお手入れ

安全にお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行ってください。機器などのお手入れは機器が冷めてから行ってください。

◆◆◆ 日常の点検

◆◆◆ 点検のポイント ― 機器周辺の状態

- 機器のまわりおよび排気口、排気筒、排気筒トップ、給排気筒トップのそばに燃えやすい物はありませんか？
- 排気筒や給・排気管が外れていたり、給排気筒トップや排気口をなにかがふさいでいませんか？詳しくは…
  📖P08「引火のおそれのあるものの使用禁止　スプレー缶厳禁」
  📖P09「可燃物に注意」
- 配管カバーや据置台を使用している場合、それらのフロントカバーが確実に固定されていますか？
  📖P23「配管カバー・据置台のフロントカバーについて」

◆◆◆ 点検のポイント ― 機器の状態

- 機器および配管から水漏れはありませんか？
- 機器および配管からガスの臭気はありませんか？
- 運転中に機器から異常燃焼の音（点火時や使用時にゴーと音がする）や他の異常音は聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？
- 万一異常を感じたときは…
  📖P07「ガス漏れ時の処置」
  📖P09「異常時の処置　地震・火災などの緊急のときには」

お願い

定期点検のすすめ（有料）

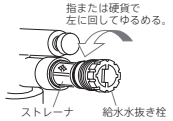
- 安心してお使いいただくために、定期的に（年に一回程度）点検を受けていただくことをおすすめします。なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては４～６年に一回程度、（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に基づく点検をおすすめします。お湯の逆流を防止するための逆流防止装置が正常に機能していることを確認する必要があります。
  📖P36「サービスを依頼されるとき」
- 万一使用中に異常音がする、排気に不快な臭いが混ざっている、排気が目にしみるなどの異常に気づいたときは…
  📖P09「異常時の処置　地震・火災などの緊急のときには」

日常の点検とお手入れ（つづき）

◆◆◆ 日常のお手入れ

◆◆◆ 機器とリモコンのお手入れ

- 機器やリモコンの表面が汚れたときは、台所用中性洗剤（野菜･食器洗い用）を含ませた布で軽く拭き取ってください。台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。
  台所リモコンは防水タイプではありません。浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。故障の原因となります。
  📖P16「お手入れの際の注意」
- 給水水抜き栓先端のストレーナにゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあったときはご注意ください。



- 機器の給気口が、ほこりやゴミで詰ったまま使用すると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。

◆◆◆ 給湯栓のお手入れ

- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものは、ときどき内部フィルターを掃除してください。
  詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください

ヒント
水抜き栓のお手入れは、必ず給水元栓を閉じてから行ってください。

ヒント
循環フィルターの形状は、右図とは異なることがあります。

◆◆◆ 循環フィルターのお手入れ

- 循環アダプターの循環フィルターは定期的（月２～４回）に掃除してください。

①循環フィルターを左に回す。

②手前に引いて循環アダプター本体から取り外す。

③循環フィルター正面と側面の裏表面をブラシなどで掃除する。

④▼マークを合わせてはめる。

⑤差し込んで“カチッ”と止まるまで右に回す。

お願い

循環フィルターのお手入れの後は…

- 循環フィルターは元通り確実に取り付けてください。フィルターが外れていたり、取り付け方が不十分な状態で使用すると機器故障の原因となります。
- 循環フィルター以外は外さないでください。
- これらを守らずに機器が故障したときの修理は、保証期間内でも有料です。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことを確認してください。

◆◆◆お湯の温度について

給湯栓を開いてもお湯が出ない	● ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ● 断水していませんか？ ● 給湯栓は十分に開いていますか？ ● ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していませんか？ ● 水抜き栓のストレーナにゴミなどが詰っていませんか？（📖P27） ● 凍結していませんか？ ● 運転スイッチが「切」になっていませんか？
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	● 機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	● ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ● 給湯温度の設定は適切ですか？（📖 リモコン取扱説明書） ● 低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。 ● 夏期などの水温が高いときには、設定温度よりあついお湯が出ることがありますが、異常ではありません。
高温のお湯が出ない	● ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ● 給湯温度の設定は適切ですか？（📖 リモコン取扱説明書） ● 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度（高温）のお湯が出ない場合があります。給湯栓を少し閉めてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。 ● 混合水栓をご使用の場合、水が回り込んでお湯がぬるくなることがあります。 ● 自動運転の湯はり中やたし湯運転中に台所などでお湯を使うと、リモコンの表示はそのままでふろ設定温度のお湯が出ます。また、湯はり・たし湯運転終了後も、一度お湯の使用をやめるまでは、やけど防止のためふろ設定温度のお湯が出ます。
給湯栓を絞ると水になった	● この機器は通水量が毎分 2 リットル以下になったときには消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯が出ます。
給湯温度の調節ができない	● 台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合、操作しているリモコンの優先表示は点灯していますか？（📖 リモコン取扱説明書）
自動運転をしても浴槽のお湯が設定した温度にならない	● お湯はり中にふろ設定温度を低く設定しなおした場合、実際の沸き上がりの温度は設定温度より高くなることがあります。 ● ふろ設定温度は適切ですか？（📖 リモコン取扱説明書）
湯温が変動して安定しない	● 運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確かめた後に給湯栓を閉め、約 20 秒後に再度操作してください。それでも異常のあるときは故障の可能性があります。お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。

◆◆◆自動湯はりについて

湯はりの量が設定した湯量にならない	● 浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや髪の毛が詰まっていませんか？（📖P28） ● 湯はり量（ふろ水位）の設定は適切ですか？リモコンの水位表示はめやすであり、実際の水位とは異なります。（📖 リモコン取扱説明書） ● おふろの排水栓はしっかりと閉めてありますか？ ● 浴槽によっては高い水位（多い湯量）に設定するとお湯があふれることがあります。 ● 自動湯はりタイプの場合、おふろの自動運転が完了しないうちに自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのを繰り返すと、お湯があふれることがあります。 ● 全自動タイプの場合、残り湯が循環アダプターより下にある状態で自動運転をすると、設定水位を低くした場合には、水位が設定よりも高くなることがあります。 ● 自動湯はりタイプの場合、残り湯が循環アダプターより下にある状態で自動運転をすると、その分だけ湯はり量が増えます。 ● 自動湯はりタイプの場合、残り湯が循環アダプターより上にある状態で自動運転すると、水位が多少ばらつきます。 ● 自動湯はりタイプの場合、自動運転で湯はりが完了した後で、自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりすると、お湯があふれることがあります。（📖 リモコン取扱説明書）
自動運転の湯はり完了まで通常より時間がかかる	● おふろの自動運転中にお湯を使った場合、お湯はりに使うお湯の一部を給湯で使うため、お湯はりに時間がかかります。
自動運転を始めると、にごったお湯が出る	● セルフクリーン機能がはたらかず、おいだき配管内に残り湯があった場合には、次の自動運転を始めた直後、配管内の残り湯が少し混入します。特に入浴剤をご使用の場合、にごりが目立つことがあります。
追いだきができない **追いだき中に消火した**	● 浴槽の循環アダプター上部より 5cm 以上お湯または、水が入っていますか？ ● 浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや髪の毛が詰まっていませんか？（📖P28） ● 断水していませんか？断水すると追いだきもできなくなります。 ● 品名末尾に TM の付く機器の場合、リモコンの時刻表示部にドレン排水表示「ー」が点滅（数字は消灯）しているとき（ドレン水の排出中）に、おいだきスイッチを押すと、おいだきランプが点灯しますが、実際のおいだき運転は、ドレン排水表示の消灯後（ドレン水の排出の終了後）始まります。 おいだき運転中にドレン排水表示が点滅し始める（ドレン水の排出が始まる）と、おいだき運転は一旦停止し、ドレン排水表示が消灯する（ドレン水の排出が終了する）と、おいだき運転が再開します。
たし湯運転ができない **たし水運転ができない**	● 品名末尾に TM の付く機器の場合、リモコンの時刻表示部にドレン排水表示「ー」が点滅（数字は消灯）しているとき（ドレン水の排出中）は、たし湯（たし水）スイッチを押すと、たし湯（たし水）表示が点灯しますが、実際のたし湯（たし水）運転は、ドレン排水表示の消灯後（ドレン水の排出の終了後）始まります。 たし湯（たし水）運転中にドレン排水表示が点滅し始める（ドレン水の排出が始まる）と、たし湯（たし水）運転は一旦停止し、ドレン排水表示が消灯する（ドレン水の排出が終了する）と、たし湯（たし水）運転が再開します。

故障かな？と思ったら（つづき）

浴槽の循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	● 自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが動き、しばらくは循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。
セルフクリーン機能がはたらかない（全自動タイプ）	● 次のような場合はセルフクリーン機能がはたらきません。（📖 リモコン取扱説明書） ・運転スイッチ「切」の場合 ・自動スイッチ「入」の場合 ・残り湯が循環アダプター上部より下にある場合 ・おいだき運転で水からおふろを沸かし上げた場合 ● 品名末尾に TM の付く機器の場合、セルフクリーン機能がはたらいている（循環アダプターからお湯を排出している）ときにドレン水の排出が始まると、セルフクリーン機能は途中で終了します（浴槽へのお湯の排出が止まります）。
浴槽の循環アダプターから「ボコ・ボコ」と空気の出る音がすることがある	● おいだき配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。
自動運転の途中で燃焼を中断する	● 浴槽に正確に湯はりをするための間欠運転を行っているためです。（はじめてお使いになるときは、自動運転の水位を確認するため間欠運転を行います）
おいだき運転の途中でポンプが停止し、燃焼表示が点灯する	● おいだき運転開始時にふろ水流スイッチが入らない場合、ポンプへの呼び水のため約 6 リットルのお湯をはるためです。浴槽にお湯（水）がない場合やおいだき配管に空気が溜っていた場合に起こります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	● 運転終了後、浴槽のお湯のかくはんのためポンプがしばらく回ります。
保温中ときどきポンプが回る	● 浴槽のお湯の温度を検知するためときどき回ります。

◆◆◆給湯について

お湯が出ない	● ガス栓が全開になっていますか？ ● 給水元栓が全開になっていますか？ ● 断水していませんか？ ● 給湯栓が十分開いていますか？
お湯も水も出ない	● 給水元栓が全開になっていますか？ ● 断水していませんか？
給湯栓から出るお湯の量が変化する	● お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があり、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったりお湯が出なくなる場合もありますが、しばらくすると安定します。 ● 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。

◆◆◆暖房について

暖房運転中、温水暖房端末が止まったり、暖房の温度が下がったりする	● おいだき中や終了後しばらくの間は、暖房能力が低下することがあります。温水暖房端末の運転動作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

◆◆◆その他

使用中に失火した	● ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ● 断水していませんか？ ● 給湯栓は十分に開いていますか？ ● ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していませんか？
お湯が白く濁って見える	● これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とはちがって全く無害なものです。
排気口・排気筒トップ・給排気筒トップから白い湯気が出る	● 冬に吐く息が白く見えるように、燃焼排ガス中の水蒸気が小さな水滴に変わり、白い湯気に見えますが、故障ではありません。 ● 潜熱回収型の機器の場合、排気口から出る燃焼排ガスの温度が低くなり、よりその度合いが高くなります。
おふろを使用していないのに浴槽の循環アダプターからお湯が出る	● 浴槽のお湯（水）を排水したあと、セルフクリーン機能がはたらいた場合、循環アダプターからお湯が出ます。
逃し弁（給湯水抜き栓付近）からお湯（水）が少しの間出ることがある	● 機器内部の配管にたまった水が熱で膨張するなどして、一時的に配管内部の水圧が高くなったのを機器が調整しているためで、異常ではありません。
出湯停止後しばらくの間ファンの回転音がする	● 再使用時の点火をより早くするため、出湯停止後もしばらく回転しています。
水が青く見える **浴槽や洗面台が青く変色した**	● 水中に含まれるわずかな銅イオンが水中に溶け出して青色の化合物が生成され、水が青く見えたり、浴槽や洗面台が青く変色することがありますが健康上問題ありません。浴槽や洗面台はこまめに掃除することにより、変色しにくくなります。
ポンプの回転音がする	● おいだき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。 ● 予約運転をする場合、予約完了時刻の約 30 分前に、残り湯をチェックするためのポンプ運転をします。 ● 気温が下がると、凍結予防のため、ポンプで浴槽の水を循環させます。 ● 夏期などにしばらく暖房を使用しなかった場合、暖房回路内に空気がたまることがあります。暖房回路内にたまった空気を抜くために、約半月から 1 ヶ月ごとにポンプが自動的に数分間回ります。
ポンプの回転音がして、機器や浴室からモーター音や水の流れる音がする	● 品名末尾に TM の付く機器の場合、水蒸気が熱を放出して生じた水（ドレン水）を機器が自動的に浴室内の排水口に排出し、ドレン配管の洗浄も行います。その際に、ポンプの回転音がしたり、機器や浴室からモーター音がすることがありますが、異常ではありません。
追いだきの開始時や停止時などに「キュッ」という音がする	● 自動運転や追いだき運転、また凍結予防運転などでポンプが回り始めるときと止まるときに「キュッ」という音がすることがありますが、異常ではありません。
ドレン配管から水が出る	● 潜熱回収型の機器は、水蒸気が熱を放出して生じた水（ドレン水）をドレン配管から排出します。ドレン配管の先端が露出するように施工されている場合は、ドレン水が出るのが見えることがありますが異常ではありません。 ● ドレン水は微量のカルシウムを含んでいるため、蒸発すると白い跡が残ることがありますが、異常ではありません。

故障かな？と思ったら（つづき）

浴室から水の流れる音がする	●品名末尾に TM または PU または PM または P の付く機器は、水蒸気が熱を放出して生じた水（ドレン水）を浴槽の下部の排水口から排水します。異常ではありません。
床暖房を使用していないのに床が暖まることがある	●暖房回路内にたまった空気を抜くために、約半月から 1 ヶ月ごとにポンプが自動的に回ります。このときに他の暖房端末（浴室暖房など）を使用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。

◆◆◆リモコンの表示について

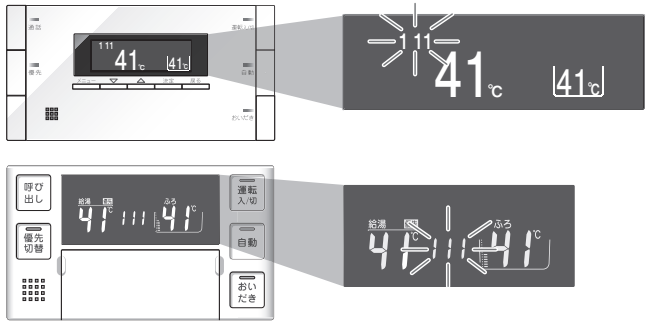
時刻表示部に「ー」が点滅する	●品名末尾に TM の付く機器の場合、ドレン水の排出・ドレン配管の洗浄を機器が行っているときには時刻表示部にドレン排水表示「ー」が点滅します。（数字は消灯します。）異常ではありません。 ●ドレン排水表示「ー」が点滅している間は、おいだきスイッチや、たし湯スイッチ、たし水スイッチを押してもその動作をしません。おいだき運転中やたし湯運転中、たし水運転中にドレン排水表示が点滅しはじめると、それらの動作は停止します。ドレン排水表示が消灯し、時刻表示に戻ると、おいだき運転中やたし湯運転中、たし水運転は再開します。

故障表示

▶▶しくみ

故障表示の点滅と一緒に、運転ランプも点滅します。

機器が故障すると、表示画面の時刻表示部に下記のような故障表示が点滅します。



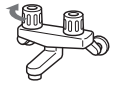
032	140	252	322	502	570	640	721	901
101	161	260	323	520	580	642	723	903
103	162	290	331	521	610	643	750	920
111	163	310	390	523	611	651	760	930
113	170	312	430	543	613	662	763	991
121	173	313	432	560	632	700	888	993
123	190	321	433	562	633	710	900	

◆◆◆ 故障表示が現れた際の再確認のお願い

次の操作をしてください。

① ガス栓と給水元栓が十分開けてあるかを確認してください。

② お湯を使っている場所では、給湯栓を閉じます。



③ リモコンの運転スイッチを「切」にし、再び「入」にしてください。

④ この取扱説明書の各項目をご確認の上、再び使用してみてください。

故障表示のうち、032・161・632 が点滅した場合は、次の項目「◆◆◆故障表示が 032・161・632 の場合」を参照の上、再度使用してみてください。

故障表示（つづき）

◆◆◆ 故障表示が 032・161・632 の場合

再度使用する際には、下記の点に注意してください。

故障表示	原因	処置
032	排水栓をしないで、自動運転をした。 断水していた。	断水をしていないか確認し、浴槽の排水栓を閉じてから自動運転をしてください。
161	給湯中にお湯の温度が設定温度よりも上がりすぎたため。	給湯栓を開いて流量を多くして、お湯を出してみてください。
632	おいだき運転時に、浴槽のお湯（水）が足りなかった。（全自動タイプで浴室リモコンのおいだきスイッチを押したとき以外）	浴槽の排水栓を閉じ、浴槽の水位が、循環アダプター上端から 5cm 以上高くなるようにお湯（水）を張ってから、追いだきしてください。
	おいだき運転時に、浴槽の排水栓が抜けていた。	
	循環アダプターのフィルター詰まりなど。	循環アダプターのフィルターを掃除し、正しく取り付けた上で、追いだきをしてください。

◆◆◆ 再使用しても、故障表示が点滅する場合は…

機器本体の故障が考えられます。お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。

故障表示 101・103 が点滅しているときは、お湯を使うことはできますが、給排気異常により十分な給湯能力が出ない状態です。

故障表示 920 が点滅しているときも、しばらくはお湯を使うことができますが、いずれ機器が使用できなくなります。

これらの表示に気が付いたらすぐにお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスへご連絡ください。

※リモコンの故障などの場合は、表示画面が点灯しなくなりますが、お湯を使うことはできるようになっています。ただしこの場合、高い温度（約 45℃）のお湯が出ますので、使用には十分ご注意ください。

◆◆◆ 次の表示は故障ではありません

品名末尾に TM の付く機器の場合、リモコンの時刻表示部に「ー」が点滅（数字は消灯）することがあります。ドレン排水の排出およびドレン配管の洗浄を行っているときにこの表示が点滅します。約 1 分程度で消灯し、時刻表示に戻ります。

アフターサービスについて

アフターサービスはお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスへお気軽にお申し付けください。

◆◆◆ サービスを依頼されるとき

- まず 29 ～ 33 ページの「故障かな？と思ったら」と 34 ～ 35 ページの「故障表示」をご確認ください。確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて（分電盤の専用ブレーカーを「切」にして）から、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。
  📖 別紙「東京ガス事業所一覧」
- アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
  1　お名前・ご住所・電話番号
  2　品名（機器前面の品名をご覧ください）
  3　現象（リモコン表示部の状態または故障表示番号などできるだけ詳しく）
  4　訪問希望日・時

◆◆◆ 保証について

- 保証書は 65 ～ 66 ページにあります。「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめになり、保証内容をよく読んでください。
- 保証期間経過後の故障については、修理により製品の機能が維持できる場合、ご希望により有料で修理いたします。

◆◆◆ 機器を移転するとき

- ガス種が異なる地域へ機器を移転されるときは機器の調整、改造が必要となります。販売店または転居先のガス事業者（供給業者）へご相談ください。ガス種によっては機器の改造ができないことがあります。
- 電源電圧が一致しないときは電気工事店へ電源電圧の変更を依頼してください。
- 増改築などのために機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要になりますので、必ず販売店またはもよりの東京ガスへご連絡ください。
- 移設・移転に伴う調整や工事の費用は有料です。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口や排気筒トップ、給排気筒トップからの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。足場などを組まなければ修理できないような高所には設置しないよう設置時に販売店にお願いしてください。

◆◆◆ 補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品の保有期間は、BL 認定品については製造打ち切り後 10 年、その他の機器については 7 年です。
  BL 認定品には、製品の前面に下のうちいずれかの表示があります。
- 性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

◆◆◆ IT4212ARS シリーズのうち品名末尾に TM の付くもの

仕様表

分類名称			給湯暖房用熱源機		
品名		IT4212ARS5AW3TM IT4212ARS5AWTM IT4212ARS5SW3TM IT4212ARS5SWTM	IT4212ARS2AW3TM IT4212ARS2AWTM IT4212ARS2SW3TM IT4212ARS2SWTM	IT4212ARS4AW3TM IT4212ARS4AWTM IT4212ARS4SW3TM IT4212ARS4SWTM	IT4212ARS9AW3TM IT4212ARS9AWTM IT4212ARS9SW3TM IT4212ARS9SWTM
型式名		RUFH-E2403AH(SAH)	RUFH-E2403AA(SAA)	RUFH-E2403AT(SAT)	RUFH-E2403AU(SAU)
設置方式		PS標準設置 屋外壁掛・据置設置	PSアルコーブ設置 屋外壁掛・据置設置	PS扉内設置 (前方排気タイプ) 屋外壁掛・据置設置	PS標準・扉内設置 (上方排気延長タイプ) 屋外壁掛・据置設置
外形寸法		幅480×奥行250×高さ750 (mm)			
製品質量		40.0kg			
温度調節	給湯 浴室	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)			
	給湯 台所	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)			
	ふろ	温度設定可変型(約33～約48℃)			
	暖房	2温度型(約80℃および約60℃)			
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)			
	リモコン側	DC24V以下			
	消費電力(50/60Hz) 待機時	標準リモコン(注1)設置時／ 運転スイッチ「入」:約3.7W、セーブモード時:約1.9W、運転スイッチ「切」:約1.8W			
		高機能ドットマトリクスリモコン(注2)設置時／ 運転スイッチ「入」:約3.0W、セーブモード時:約2.1W、運転スイッチ「切」:約1.9W			
	同時使用	200/200W			
	凍結予防ヒータ	230W			
	電源ケーブル	―――			
安全装置		水流検知装置(水量センサ) 送風検知装置(回転数検知方式) 炎検出装置(フレームロッド方式) 過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ、温度ヒューズ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 中和器詰まり検知装置		空焚安全装置(水位電極) 凍結予防装置(電気ヒータ+ふろポンプ運転+暖房燃焼運転) 漏電安全装置(漏電遮断器) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 暖房ポンプ回転検知装置(回転数検知方式)	

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。

注 1) IBR-A12A-CIV・IBR-A12A-BCV・IBR-A12A-CV・IBR-A13A-CNSV・IKR-A12A-CE9ISV・IKR-A12A-BCE9SV・IKR-A12A-CDE9SV・IKR-A12A-CE9SV

注 2) IBR-A12A-BCGISV・IBR-A12A-BCSV・IKR12ABCDE2GISV・IKR12BBCDE2GISV・IKRA12A-BCDE2SV

能力表

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
(使用ガスグループ)	同時使用時	給湯	暖房	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
13A	57.8(49,700)	44.2(38,000)	13.7(11,800)	24.0	15.0
12A	53.9(46,400)	41.2(35,400)	12.8(11,000)	22.3	13.9

- ガスは JIS に規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。
- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

◆◆◆ IT2812ARS シリーズのうち品名末尾に TM の付くもの

仕様表

分類名称			給湯暖房用熱源機		
品名		IT2812ARS5AW3TM IT2812ARS5AWTM IT2812ARS5SW3TM IT2812ARS5SWTM	IT2812ARS2AW3TM IT2812ARS2AWTM IT2812ARS2SW3TM IT2812ARS2SWTM	IT2812ARS4AW3TM IT2812ARS4AWTM IT2812ARS4SW3TM IT2812ARS4SWTM	IT2812ARS9AW3TM IT2812ARS9AWTM IT2812ARS9SW3TM IT2812ARS9SWTM
型式名		RUFH-E1613AH(SAH)	RUFH-E1613AA(SAA)	RUFH-E1613AT(SAT)	RUFH-E1613AU(SAU)
設置方式		PS標準設置 屋外壁掛・据置設置	PSアルコーブ設置 屋外壁掛・据置設置	PS扉内設置 (前方排気タイプ) 屋外壁掛・据置設置	PS標準・扉内設置 (上方排気延長タイプ) 屋外壁掛・据置設置
外形寸法		幅480×奥行250×高さ750 (mm)			
製品質量		40.0kg			
温度調節	給湯 浴室	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)			
	給湯 台所	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)			
	ふろ	温度設定可変型(約33～約48℃)			
	暖房	2温度型(約80℃および約60℃)			
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)			
	リモコン側	DC24V以下			
	消費電力(50/60Hz) 待機時	標準リモコン(注1)設置時／ 運転スイッチ「入」:約3.7W、セーブモード時:約1.9W、運転スイッチ「切」:約1.8W			
		高機能ドットマトリクスリモコン(注2)設置時／ 運転スイッチ「入」:約3.0W、セーブモード時:約2.1W、運転スイッチ「切」:約1.9W			
	同時使用	200/200W			
	凍結予防ヒータ	230W			
	電源ケーブル	―――			
安全装置		水流検知装置(水量センサ) 送風検知装置(回転数検知方式) 炎検出装置(フレームロッド方式) 過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ、温度ヒューズ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 中和器詰まり検知装置		空焚安全装置(水位電極) 凍結予防装置(電気ヒータ+ふろポンプ運転+暖房燃焼運転) 漏電安全装置(漏電遮断器) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 暖房ポンプ回転検知装置(回転数検知方式)	

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。

注 1) IBR-A12A-CIV・IBR-A12A-BCV・IBR-A12A-CV・IBR-A13A-CNSV・IKR-A12A-CE9ISV・IKR-A12A-BCE9SV・IKR-A12A-CDE9SV・IKR-A12A-CE9SV

注 2) IBR-A12A-BCGISV・IBR-A12A-BCSV・IKR12ABCDE2GISV・IKR12BBCDE2GISV・IKRA12A-BCDE2SV

能力表

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
(使用ガスグループ)	同時使用時	給湯	暖房	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
13A	43.5(37,400)	29.8(25,600)	13.7(11,800)	16.0	10.0
12A	40.6(34,900)	27.8(23,900)	12.8(11,000)	15.0	9.4

- ガスは JIS に規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。
- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

仕様（つづき）

◆◆◆ IT4212ARS シリーズのうち品名末尾に CM の付くもの

仕様表

分類名称			給湯暖房用熱源機				
品名			IT4212ARSAW3CM IT4212ARSSW3CM	IT4212ARS2AW3CM IT4212ARS2SW3CM	IT4212ARS4AW3CM IT4212ARS4SW3CM	IT4212ARS5AW3CM IT4212ARS5SW3CM	IT4212ARS9AW3CM IT4212ARS9SW3CM
型式名			RUFH-E2403AW(SAW)	RUFH-E2403AA(SAA)	RUFH-E2403AT(SAT)	RUFH-E2403AH(SAH)	RUFH-E2403AU(SAU)
設置方式			PS標準設置 屋外壁掛・据置設置	PSアルコーブ設置 屋外壁掛・据置設置	PS扉内設置 (前方排気タイプ) 屋外壁掛・据置設置	PS標準設置 屋外壁掛・据置設置	PS標準・扉内設置 (上方排気延長タイプ) 屋外壁掛・据置設置
外形寸法			幅480×奥行250×高さ750 (mm)				
製品質量			38.5kg				
温度調節	給湯	浴室	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)				
		台所	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)				
	ふろ		温度設定可変型(約33～約48℃)				
	暖房		2温度型(約80℃および約60℃)				
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)				
	リモコン側		DC24V以下				
	消費電力(50/60Hz)	待機時	標準リモコン(注1)設置時／ 運転スイッチ「入」:約2.3W、セーブモード時:約1.6W、運転スイッチ「切」:約1.0W				
			高機能ドットマトリクスリモコン(注2)設置時／ 運転スイッチ「入」:約2.9W、セーブモード時:約1.1W、運転スイッチ「切」:約1.1W				
		同時使用	175/175W	200/200W			
		鋳鉄ﾋｰﾀ	230W				
	電源ケーブル		―――				
安全装置			水流検知装置(水量センサ) 送風検知装置(回転数検知方式) 炎検出装置(フレームロッド方式) 過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ、温度ヒューズ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 中和器詰まり検知装置		空焚安全装置(水位電極) 凍結予防装置(電気ヒータ+ふろポンプ運転+暖房燃焼運転) 漏電安全装置(漏電遮断器) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 暖房ポンプ回転検知装置(回転数検知方式)		

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。
注 1) IBR-A12A-CIV・IBR-A12A-BCV・IBR-A12A-CV・IBR-A13A-CNSV・IKR-A12A-CE9ISV・IKR-A12A-BCE9SV・IKR-A12A-CDE9SV・IKR-A12A-CE9SV
注 2) IBR-A12A-BCGISV・IBR-A12A-BCSV・IKR12ABCDE2GISV・IKR12BBCDE2GISV・IKRA12A-BCDE2SV

能力表

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
(使用ガスグループ)	同時使用時	給湯	暖房	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
13A	57.8(49,700)	44.2(38,000)	13.7(11,800)	24.0	15.0
12A	53.9(46,400)	41.2(35,400)	12.8(11,000)	22.3	13.9

- ガスは JIS に規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。
- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

◆◆◆ IT4212ARS シリーズのうち品名末尾に PM の付くもの

仕様表

分類名称			給湯暖房用熱源機			
品名			IT4212ARS5AW3PM IT4212ARS5SW3PM	IT4212ARS2AW3PM IT4212ARS2SW3PM	IT4212ARS4AW3PM IT4212ARS4SW3PM	IT4212ARS9AW3PM IT4212ARS9SW3PM
型式名			RUFH-E2403AH(SAH)	RUFH-E2403AA(SAA)	RUFH-E2403AT(SAT)	RUFH-E2403AU(SAU)
設置方式			PS標準設置 屋外壁掛・据置設置	PSアルコーブ設置 屋外壁掛・据置設置	PS扉内設置 (前方排気タイプ) 屋外壁掛・据置設置	PS標準・扉内設置 (上方排気延長タイプ) 屋外壁掛・据置設置
外形寸法			幅480×奥行250×高さ750 (mm)			
製品質量			39.5kg			
温度調節	給湯	浴室	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)			
		台所	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)			
	ふろ		温度設定可変型(約33～約48℃)			
	暖房		2温度型(約80℃および約60℃)			
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)			
	リモコン側		DC24V以下			
	消費電力(50/60Hz)	待機時	標準リモコン(注1)設置時／ 運転スイッチ「入」:約2.3W、セーブモード時:約1.6W、運転スイッチ「切」:約1.0W			
			高機能ドットマトリクスリモコン(注2)設置時／ 運転スイッチ「入」:約2.9W、セーブモード時:約1.1W、運転スイッチ「切」:約1.1W			
		同時使用	200/200W			
		鋳鉄ﾋｰﾀ	230W			
	電源ケーブル		―――			
安全装置			水流検知装置(水量センサ) 送風検知装置(回転数検知方式) 炎検出装置(フレームロッド方式) 過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ、温度ヒューズ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 中和器詰まり検知装置		空焚安全装置(水位電極) 凍結予防装置(電気ヒータ+ふろポンプ運転+暖房燃焼運転) 漏電安全装置(漏電遮断器) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 暖房ポンプ回転検知装置(回転数検知方式)	

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。
注 1) IBR-A12A-CIV・IBR-A12A-BCV・IBR-A12A-CV・IBR-A13A-CNSV・IKR-A12A-CE9ISV・IKR-A12A-BCE9SV・IKR-A12A-CDE9SV・IKR-A12A-CE9SV
注 2) IBR-A12A-BCGISV・IBR-A12A-BCSV・IKR12ABCDE2GISV・IKR12BBCDE2GISV・IKRA12A-BCDE2SV

能力表

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
(使用ガスグループ)	同時使用時	給湯	暖房	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
13A	57.8(49,700)	44.2(38,000)	13.7(11,800)	24.0	15.0
12A	53.9(46,400)	41.2(35,400)	12.8(11,000)	22.3	13.9

- ガスは JIS に規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。
- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

仕様（つづき）

◆◆◆ IT2812ARS シリーズのうち品名末尾に CM の付くもの

仕様表

分類名称		給湯暖房用熱源機				
品名		IT2812ARSAW3CM IT2812ARSSW3CM	IT2812ARS2AW3CM IT2812ARS2SW3CM	IT2812ARS4AW3CM IT2812ARS4SW3CM	IT2812ARS5AW3CM IT2812ARS5SW3CM	IT2812ARS9AW3CM IT2812ARS9SW3CM
型式名		RUFH-E1613AW(SAW)	RUFH-E1613AA(SAA)	RUFH-E1613AT(SAT)	RUFH-E1613AH(SAH)	RUFH-E1613AU(SAU)
設置方式		PS標準設置 屋外壁掛・据置設置	PSアルコーブ設置 屋外壁掛・据置設置	PS扉内設置 (前方排気タイプ) 屋外壁掛・据置設置	PS標準設置 屋外壁掛・据置設置	PS標準・扉内設置 (上方排気延長タイプ) 屋外壁掛・据置設置
外形寸法		幅480×奥行250×高さ750 (mm)				
製品質量		38.5kg				
温度調節	給湯 浴室	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)				
	給湯 台所	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)				
	ふろ	温度設定可変型(約33～約48℃)				
	暖房	2温度型(約80℃および約60℃)				
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)				
	リモコン側	DC24V以下				
	消費電力(50/60Hz) 待機時	標準リモコン(注1)設置時／ 運転スイッチ「入」:約2.3W、セーブモード時:約1.6W、運転スイッチ「切」:約1.0W				
		高機能ドットマトリクスリモコン(注2)設置時／ 運転スイッチ「入」:約2.9W、セーブモード時:約1.1W、運転スイッチ「切」:約1.1W				
	同時使用	175/175W	200/200W			
	凍結予防ヒータ	230W				
	電源ケーブル	―――				
安全装置		水流検知装置(水量センサ) 送風検知装置(回転数検知方式) 炎検出装置(フレームロッド方式) 過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ、温度ヒューズ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 中和器詰まり検知装置		空焚安全装置(水位電極) 凍結予防装置(電気ヒータ+ふろポンプ運転+暖房燃焼運転) 漏電安全装置(漏電遮断器) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 暖房ポンプ回転検知装置(回転数検知方式)		

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。

注 1) IBR-A12A-CIV・IBR-A12A-BCV・IBR-A12A-CV・IBR-A13A-CNSV・IKR-A12A-CE9ISV・IKR-A12A-BCE9SV・IKR-A12A-CDE9SV・IKR-A12A-CE9SV

注 2) IBR-A12A-BCGISV・IBR-A12A-BCSV・IKR12ABCDE2GISV・IKR12BBCDE2GISV・IKRA12A-BCDE2SV

能力表

使用ガス (使用ガスグループ)	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
	同時使用時	給湯	暖房	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
13A	43.5(37,400)	29.8(25,600)	13.7(11,800)	16.0	10.0
12A	40.6(34,900)	27.8(23,900)	12.8(11,000)	15.0	9.4

- ガスは JIS に規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。
- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

◆◆◆ IT4212KRS シリーズ

仕様表

分類名称		給湯暖房用熱源機	
品名		IT4212KRSAWCM IT4212KRSSWCM	
型式名		RVD-E2401AW(SAW)	
設置方式		屋外壁掛設置	
外形寸法		幅470×奥行265×高さ600 (mm)	
製品質量		34kg	
温度調節	給湯 浴室	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)	
	給湯 台所	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)	
	ふろ	温度設定可変型(約33～約48℃)	
	暖房	2温度型(約80℃および約60℃)	
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)	
	リモコン側	DC24V以下	
	消費電力(50/60Hz) 待機時	標準リモコン(注1)設置時／ 運転スイッチ「入」:約3.2W、セーブモード時:約1.2W、運転スイッチ「切」:約1.1W	
		高機能ドットマトリクスリモコン(注2)設置時／ 運転スイッチ「入」:約2.3W、セーブモード時:約1.4W、運転スイッチ「切」:約1.2W	
	同時使用	185/185W	
	凍結予防ヒータ	215W	
	電源ケーブル	―――	
安全装置		水流検知装置(水量センサ) 送風検知装置(回転数検知方式) 炎検出装置(フレームロッド方式) 過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ、温度ヒューズ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 中和器詰まり検知装置	空焚安全装置(水位電極) 凍結予防装置(電気ヒータ+ふろポンプ運転+暖房燃焼運転) 漏電安全装置(漏電遮断器) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 暖房ポンプ回転検知装置(回転数検知方式)

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。

注 1) IBR-A12A-CIV・IBR-A12A-BCV・IBR-A12A-CV・IBR-A13A-CNSV・IKR-A12A-CE9ISV・IKR-A12A-BCE9SV・IKR-A12A-CDE9SV・IKR-A12A-CE9SV

注 2) IBR-A12A-BCGISV・IBR-A12A-BCSV・IKR12ABCDE2GISV・IKR12BBCDE2GISV・IKRA12A-BCDE2SV

能力表

使用ガス (使用ガスグループ)	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
	同時使用時	給湯	暖房	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
13A	57.8(49,700)	44.2(38,000)	13.7(11,800)	24.0	15.0
12A	53.9(46,400)	41.2(35,400)	12.8(11,000)	22.3	13.9

- ガスは JIS に規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。
- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

仕様（つづき）

◆◆◆ IT4211BRS シリーズのうち品名末尾に CU または C の付くもの

仕様表

分類名称			給湯暖房用熱源機						
品名			IT4211BRSAW6CU IT4211BRSAW3CU IT4211BRSSW6CU IT4211BRSSW3CU IT4211BRSAWC	IT4211BRS2AW6CU IT4211BRS2AW3CU IT4211BRS2SW6CU IT4211BRS2SW3CU IT4211BRS2AWC	IT4211BRS4AW6CU IT4211BRS4AW3CU IT4211BRS4SW6CU IT4211BRS4SW3CU IT4211BRS4AWC	IT4211BRS5AW6CU IT4211BRS5AW3CU IT4211BRS5SW6CU IT4211BRS5SW3CU IT4211BRS5AWC	IT4211BRS9AW6CU IT4211BRS9AW3CU IT4211BRS9SW6CU IT4211BRS9SW3CU IT4211BRS9AWC	IT4211BRS0AW6CU IT4211BRS0AW3CU IT4211BRS0SW6CU IT4211BRS0SW3CU
型式名			RUFH-E2402AW(SAW)	RUFH-E2402AA(SAA)	RUFH-E2402AT(SAT)	RUFH-E2402AH(SAH)	RUFH-E2402AU(SAU)	RUFH-E2402AF(SAF)
設置方式			屋外壁掛設置	屋外壁掛設置またはPSアルコーブ設置	屋外壁掛設置またはパイプシャフト(屋内)設置 前方排気型	屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置	屋外壁掛設置またはパイプシャフト(屋内)設置 上方排気型	屋外壁掛設置またはパイプシャフト屋内設置 上方給排気型
外形寸法			幅480×奥行250×高さ750 (mm)					
製品質量			44kg					
温度調節	給湯	浴室	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)					
		台所	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)					
	ふろ		温度設定可変型(約33～約48℃)					
	暖房		2温度型(約80℃および約60℃)					
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)					
	リモコン側		DC24V以下					
	消費電力(50/60Hz)	待機時	標準リモコン(注1)設置時／ 運転スイッチ「入」:約3.1W、セーブモード時:約1.1W、運転スイッチ「切」:約1.1W					
			高機能ドットマトリクスリモコン(注2)設置時／ 運転スイッチ「入」:約2.2W、セーブモード時:約1.3W、運転スイッチ「切」:約1.2W					
		同時使用	205/205W	230/230W				
		凍結予防ヒータ	205W					
	電源ケーブル		―――					
安全装置			水流検知装置(水量センサ) 送風検知装置(回転数検知方式) 炎検出装置(フレームロッド方式) 過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ、温度ヒューズ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 中和器詰まり検知装置		空焚安全装置(水位電極) 凍結予防装置(電気ヒータ+ふろポンプ運転+暖房燃焼運転) 漏電安全装置(漏電遮断器) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 暖房ポンプ回転検知装置(回転数検知方式)			

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。

注 1) IBR-A12A-CIV・IBR-A12A-BCV・IBR-A12A-CV・IBR-A13A-CNSV・IKR-A12A-CE9ISV・IKR-A12A-BCE9SV・IKR-A12A-CDE9SV・IKR-A12A-CE9SV

注 2) IBR-A12A-BCGISV・IBR-A12A-BCSV・IKR12ABCDE2GISV・IKR12BBCDE2GISV・IKRA12A-BCDE2SV

能力表

使用ガス (使用ガスグループ)	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
	同時使用時	給湯	暖房	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
13A	64.8(55,700)	44.2(38,000)	20.6(17,700)	24.0	15.0
12A	60.4(51,900)	41.2(35,400)	19.2(16,500)	22.3	13.9

- ガスは JIS に規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。
- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

◆◆◆ IT4211BRS シリーズのうち品名末尾に PU または P の付くもの

仕様表

分類名称			給湯暖房用熱源機						
品名			IT4211BRSAW6PU IT4211BRSSW3PU IT4211BRSAWP	IT4211BRS2AW6PU IT4211BRS2SW3PU IT4211BRS2AWP	IT4211BRS4AW6PU IT4211BRS4SW3PU IT4211BRS4AWP	IT4211BRS5AW6PU IT4211BRS5SW3PU IT4211BRS5AWP	IT4211BRS9AW6PU IT4211BRS9SW3PU IT4211BRS9AWP	IT4211BRS0AW6PU IT4211BRS0SW3PU
型式名			RUFH-E2402AW(SAW)	RUFH-E2402AA(SAA)	RUFH-E2402AT(SAT)	RUFH-E2402AH(SAH)	RUFH-E2402AU(SAU)	RUFH-E2402AF(SAF)
設置方式			屋外壁掛設置	屋外壁掛設置またはPSアルコーブ設置	屋外壁掛設置またはパイプシャフト(屋内)設置 前方排気型	屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置	屋外壁掛設置またはパイプシャフト(屋内)設置 上方排気型	屋外壁掛設置またはパイプシャフト屋内設置 上方給排気型
外形寸法			幅480×奥行250×高さ750 (mm)					
製品質量			45kg					
温度調節	給湯	浴室	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)					
		台所	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)					
	ふろ		温度設定可変型(約33～約48℃)					
	暖房		2温度型(約80℃および約60℃)					
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)					
	リモコン側		DC24V以下					
	消費電力(50/60Hz)	待機時	標準リモコン(注1)設置時／ 運転スイッチ「入」:約3.1W、セーブモード時:約1.1W、運転スイッチ「切」:約1.1W					
			高機能ドットマトリクスリモコン(注2)設置時／ 運転スイッチ「入」:約2.2W、セーブモード時:約1.3W、運転スイッチ「切」:約1.2W					
		同時使用	205/205W	230/230W				
		凍結予防ヒータ	205W					
	電源ケーブル		―――					
安全装置			水流検知装置(水量センサ) 送風検知装置(回転数検知方式) 炎検出装置(フレームロッド方式) 過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ、温度ヒューズ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 中和器詰まり検知装置		空焚安全装置(水位電極) 凍結予防装置(電気ヒータ+ふろポンプ運転+暖房燃焼運転) 漏電安全装置(漏電遮断器) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 暖房ポンプ回転検知装置(回転数検知方式)			

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。

注 1) IBR-A12A-CIV・IBR-A12A-BCV・IBR-A12A-CV・IBR-A13A-CNSV・IKR-A12A-CE9ISV・IKR-A12A-BCE9SV・IKR-A12A-CDE9SV・IKR-A12A-CE9SV

注 2) IBR-A12A-BCGISV・IBR-A12A-BCSV・IKR12ABCDE2GISV・IKR12BBCDE2GISV・IKRA12A-BCDE2SV

能力表

使用ガス (使用ガスグループ)	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
	同時使用時	給湯	暖房	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
13A	64.8(55,700)	44.2(38,000)	20.6(17,700)	24.0	15.0
12A	60.4(51,900)	41.2(35,400)	19.2(16,500)	22.3	13.9

- ガスは JIS に規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。
- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

仕様（つづき）

◆◆◆ IT2811BRS シリーズのうち品名末尾に CU の付くもの

仕様表

分類名称			給湯暖房用熱源機				
品名			IT2811BRSAW3CU IT2811BRSSW3CU	IT2811BRS2AW3CU IT2811BRS2SW3CU	IT2811BRS4AW3CU IT2811BRS4SW3CU	IT2811BRS5AW3CU IT2811BRS5SW3CU	IT2811BRS9AW3CU IT2811BRS9SW3CU
型式名			RUFH-E1612AW(SAW)	RUFH-E1612AA(SAA)	RUFH-E1612AT(SAT)	RUFH-E1612AH(SAH)	RUFH-E1612AU(SAU)
設置方式			屋外壁掛設置	屋外壁掛設置または PSアルコーブ設置	屋外壁掛設置または パイプシャフト(扉内)設置 前方排気型	屋外壁掛設置または パイプシャフト設置	屋外壁掛設置または パイプシャフト(扉内)設置 上方排気型
外形寸法			幅480×奥行250×高さ750 (mm)				
製品質量			44kg				
温度調節	給湯	浴室	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)				
		台所	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)				
	ふろ		温度設定可変型(約33～約48℃)				
	暖房		2温度型(約80℃および約60℃)				
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)				
	リモコン側		DC24V以下				
	消費電力(50/60Hz)	待機時	標準リモコン(注1)設置時／ 運転スイッチ「入」:約3.1W、セーブモード時:約1.1W、運転スイッチ「切」:約1.1W				
			高機能ドットマトリクスリモコン(注2)設置時／ 運転スイッチ「入」:約2.2W、セーブモード時:約1.3W、運転スイッチ「切」:約1.2W				
		同時使用	205/205W	230/230W			
		凍結防止ヒータ	205W				
	電源ケーブル		―――				
安全装置			水流検知装置(水量センサ) 送風検知装置(回転数検知方式) 炎検出装置(フレームロッド方式) 過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ、温度ヒューズ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 中和器詰まり検知装置		空焚安全装置(水位電極) 凍結予防装置(電気ヒータ+ふろポンプ運転+暖房燃焼運転) 漏電安全装置(漏電遮断器) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 暖房ポンプ回転検知装置(回転数検知方式)		

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。
注 1) IBR-A12A-CIV・IBR-A12A-BCV・IBR-A12A-CV・IBR-A13A-CNSV・IKR-A12A-CE9ISV・IKR-A12A-BCE9SV・IKR-A12A-CDE9SV・IKR-A12A-CE9SV
注 2) IBR-A12A-BCGISV・IBR-A12A-BCSV・IKR12ABCDE2GISV・IKR12BBCDE2GISV・IKRA12A-BCDE2SV

能力表

使用ガス (使用ガスグループ)	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
	同時使用時	給湯	暖房	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
13A	51.4(44,200)	30.8(26,500)	20.6(17,700)	16.0	10.0
12A	47.9(41,200)	28.7(24,700)	19.2(16,500)	15.0	9.4

- ガスは JIS に規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。
- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

◆◆◆ IT2811BRS シリーズのうち品名末尾に PU の付くもの

仕様表

分類名称			給湯暖房用熱源機				
品名			IT2811BRSSW3PU	IT2811BRS2SW3PU	IT2811BRS4SW3PU	IT2811BRS5SW3PU	IT2811BRS9SW3PU
型式名			RUFH-E1612AW(SAW)	RUFH-E1612AA(SAA)	RUFH-E1612AT(SAT)	RUFH-E1612AH(SAH)	RUFH-E1612AU(SAU)
設置方式			屋外壁掛設置	屋外壁掛設置または PSアルコーブ設置	屋外壁掛設置または パイプシャフト(扉内)設置 前方排気型	屋外壁掛設置または パイプシャフト設置	屋外壁掛設置または パイプシャフト(扉内)設置 上方排気型
外形寸法			幅480×奥行250×高さ750 (mm)				
製品質量			45kg				
温度調節	給湯	浴室	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)				
		台所	温度設定可変型(約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃)				
	ふろ		温度設定可変型(約33～約48℃)				
	暖房		2温度型(約80℃および約60℃)				
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)				
	リモコン側		DC24V以下				
	消費電力(50/60Hz)	待機時	標準リモコン(注1)設置時／ 運転スイッチ「入」:約3.1W、セーブモード時:約1.1W、運転スイッチ「切」:約1.1W				
			高機能ドットマトリクスリモコン(注2)設置時／ 運転スイッチ「入」:約2.2W、セーブモード時:約1.3W、運転スイッチ「切」:約1.2W				
		同時使用	205/205W	230/230W			
		凍結防止ヒータ	205W				
	電源ケーブル		―――				
安全装置			水流検知装置(水量センサ) 送風検知装置(回転数検知方式) 炎検出装置(フレームロッド方式) 過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ、温度ヒューズ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 中和器詰まり検知装置		空焚安全装置(水位電極) 凍結予防装置(電気ヒータ+ふろポンプ運転+暖房燃焼運転) 漏電安全装置(漏電遮断器) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 暖房ポンプ回転検知装置(回転数検知方式)		

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。
注 1) IBR-A12A-CIV・IBR-A12A-BCV・IBR-A12A-CV・IBR-A13A-CNSV・IKR-A12A-CE9ISV・IKR-A12A-BCE9SV・IKR-A12A-CDE9SV・IKR-A12A-CE9SV
注 2) IBR-A12A-BCGISV・IBR-A12A-BCSV・IKR12ABCDE2GISV・IKR12BBCDE2GISV・IKRA12A-BCDE2SV

能力表

使用ガス (使用ガスグループ)	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
	同時使用時	給湯	暖房	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
13A	51.4(44,200)	30.8(26,500)	20.6(17,700)	16.0	10.0
12A	47.9(41,200)	28.7(24,700)	19.2(16,500)	15.0	9.4

- ガスは JIS に規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。
- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

仕様（つづき）

◆◆◆ IT4213LRS シリーズ

仕様表

分類名称			給湯暖房用熱源機	
品名			IT4213LRSAW6CU IT4213LRSAW3CU IT4213LRSSW6CU IT4213LRSSW3CU	IT4213LRS4AW6CU IT4213LRS4AW3CU IT4213LRS4SW6CU IT4213LRS4SW3CU
型式名			RUFH-SE2402AW(SAW)	RUFH-SE2402AT(SAT)
設置方式			屋外据置設置	屋外据置設置またはパイプシャフト（扉内）設置
外形寸法			幅250×奥行450×高さ900 (mm)	
製品質量			49kg	
温度調節	給湯	浴室	温度設定可変型（約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃）	
		台所	温度設定可変型（約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃）	
	ふろ		温度設定可変型（約33～約48℃）	
	暖房		2温度型（約80℃および約60℃）	
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)	
	リモコン側		DC24V以下	
	消費電力（50/60Hz）	待機時	標準リモコン（注1）設置時／ 運転スイッチ「入」：約3.0W、セーブモード時：約1.1W、運転スイッチ「切」：約1.1W	
			高機能ドットマトリクスリモコン（注2）設置時／ 運転スイッチ「入」：約2.3W、セーブモード時：約1.3W、運転スイッチ「切」：約1.3W	
		同時使用	250/250W	
		凍結予防ヒータ	205W	
	電源ケーブル		―――	
安全装置			水流検知装置（水量センサ） 送風検知装置（回転数検知方式） 炎検出装置（フレームロッド方式） 過熱防止安全装置（ハイリミットスイッチ、温度ヒューズ） 過圧防止安全装置（スプリング式） 中和器詰まり検知装置	空焚安全装置（水位電極） 凍結予防装置（電気ヒータ＋ふろポンプ運転＋暖房燃焼運転） 漏電安全装置（漏電遮断器） 誘導雷保護装置（サージアブソーバ） 暖房ポンプ回転検知装置（回転数検知方式）

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。
注 1）IBR-A12A-CIV・IBR-A12A-BCV・IBR-A12A-CV・IBR-A13A-CNSV・IKR-A12A-CE9ISV・IKR-A12A-BCE9SV・IKR-A12A-CDE9SV・IKR-A12A-CE9SV
注 2）IBR-A12A-BCGISV・IBR-A12A-BCSV・IKR12ABCDE2GISV・IKR12BBCDE2GISV・IKRA12A-BCDE2SV

能力表

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
（使用ガスグループ）	同時使用時	給湯	暖房	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
13A	64.8(55,700)	44.2(38,000)	20.6(17,700)	24.0	15.0
12A	60.4(51,900)	41.2(35,400)	19.2(16,500)	22.3	13.9

- ガスは JIS に規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。
- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

◆◆◆ IT4212LRS シリーズ

仕様表

分類名称			給湯暖房用熱源機	
品名			IT4212LRSAW3CM IT4212LRSSW3CM	IT4212LRS4AW3CM IT4212LRS4SW3CM
型式名			RUFH-SE2403AW(SAW)	RUFH-SE2403AT(SAT)
設置方式			屋外据置設置	屋外据置設置またはパイプシャフト（扉内）設置
外形寸法			幅250×奥行450×高さ900 (mm)	
製品質量			43kg	
温度調節	給湯	浴室	温度設定可変型（約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃）	
		台所	温度設定可変型（約32℃・約35℃・約37～約48℃・約50℃・約55℃・約60℃）	
	ふろ		温度設定可変型（約33～約48℃）	
	暖房		2温度型（約80℃および約60℃）	
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)	
	リモコン側		DC24V以下	
	消費電力（50/60Hz）	待機時	標準リモコン（注1）設置時／ 運転スイッチ「入」：約3.0W、セーブモード時：約1.2W、運転スイッチ「切」：約1.1W	
			高機能ドットマトリクスリモコン（注2）設置時／ 運転スイッチ「入」：約2.2W、セーブモード時：約1.2W、運転スイッチ「切」：約1.2W	
		同時使用	190/190W	
		凍結予防ヒータ	205W	
	電源ケーブル		―――	
安全装置			水流検知装置（水量センサ） 送風検知装置（回転数検知方式） 炎検出装置（フレームロッド方式） 過熱防止安全装置（ハイリミットスイッチ、温度ヒューズ） 過圧防止安全装置（スプリング式） 中和器詰まり検知装置	空焚安全装置（水位電極） 凍結予防装置（電気ヒータ＋ふろポンプ運転＋暖房燃焼運転） 漏電安全装置（漏電遮断器） 誘導雷保護装置（サージアブソーバ） 暖房ポンプ回転検知装置（回転数検知方式）

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。
注 1）IBR-A12A-CIV・IBR-A12A-BCV・IBR-A12A-CV・IBR-A13A-CNSV・IKR-A12A-CE9ISV・IKR-A12A-BCE9SV・IKR-A12A-CDE9SV・IKR-A12A-CE9SV
注 2）IBR-A12A-BCGISV・IBR-A12A-BCSV・IKR12ABCDE2GISV・IKR12BBCDE2GISV・IKRA12A-BCDE2SV

能力表

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
（使用ガスグループ）	同時使用時	給湯	暖房	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
13A	57.8(49,700)	44.2(38,000)	13.7(11,800)	24.0	15.0
12A	53.9(46,400)	41.2(35,400)	12.8(11,000)	22.3	13.9

- ガスは JIS に規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。
- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

用語集

あ

追いだき（おいだき）
浴槽に張ってあるお湯を循環アダプターから機器本体内に取り入れ、機器本体の中で加熱し、再度浴槽に戻すことで浴槽のお湯をあつくしていくこと。

温水暖房端末（おんすいだんぼうたんまつ）
給湯暖房用熱源機から供給される温水で暖房などをする機器すべてとそのリモコンを指します。
温水暖房端末には、浴室暖房機、浴室暖房乾燥機、温水エアコン、パネルヒーター、ファンコンベクター、床暖房とそのリモコンなどがあります。

か

給湯温度（きゅうとうおんど）
機器から供給するお湯の温度。

給湯栓（きゅうとうせん）
給湯配管先の水栓、およびその水栓のお湯の出し・止め・湯量調節をするハンドル（つまみ）の両方を指します。

給湯配管（きゅうとうはいかん）
浴室や台所、洗面所などの水栓に、機器本体の給湯接続口より配管することでお湯を供給すること。またはその配管を指します。

給排気筒トップ・給気筒トップ・排気筒トップ（きゅうはいきとうとっぷ・きゅうきとうとっぷ・はいきとうとっぷ）
品名に BRS$_0$ を含むタイプは、燃焼に必要な空気を給気管を通じて取り入れ、燃焼排ガスを排気管を通して排出します。給・排気通路の先端に位置する部品を「トップ」と呼びます。給気と排気を 1 つの部品で行うものを給排気筒トップ、別の部品で行うものをそれぞれ給気筒トップ・排気筒トップと呼びますが、本書ではこれらをまとめて「給排気筒トップ」と表現します。

混合水栓（こんごうすいせん）
機器本体で作られるお湯と水を混ぜることでお湯の温度を調節できる水栓。
2 バルブ式、シングルレバー式、サーモスタット式があります。

さ

自動湯はり（じどうゆはり）
機器が自動運転で設定量の湯を湯はりし、設定温度に沸かすことを指します。

循環アダプター（じゅんかんあだぷたー）
浴槽の側面に取り付けられています。自動運転で湯はりをする際には、ここから浴槽に注湯されます。

潜熱回収型（せんねつかいしゅうがた）
本書では、燃焼排ガス中の水蒸気が水になるときに発生する熱（潜熱）も利用（回収）するための装置を持つ機器を潜熱回収型の機器と呼びます。

た

ドレン水（どれんすい）

ドレン水の排出（どれんすいのはいしゅつ）
潜熱回収型の機器で、水蒸気が熱を放出して生じた水をドレン水と呼びます。
品名末尾に TM の付く機器では、機器本体に内蔵されているドレンタンクにドレン水が溜まると、機器が自動的にドレン水を排出し、排出後は、水（お湯）をドレン配管から流し出すことで配管の洗浄も行います（ドレン水排出機能）。その際に、リモコンの時刻表示部にドレン排水表示「－」が点滅します。（数字は消灯します。）
ドレン水の排出およびドレン配管の洗浄は、約 1 分程度で終了しますが、機器本体の設置場所と浴室が離れているなどすると、余分に時間がかかることがあります。
お湯を使った直後は、ドレン配管をお湯で洗浄することがあります。その場合は、ドレン配管洗浄中にリモコンの表示部にドレン排水表示「－」の点滅に加えて、燃焼表示が点灯します。
運転スイッチが「切」の場合でも、機器本体に内蔵されているドレンタンクにドレン水が溜まると、自動的にドレン水の排出およびドレン配管の洗浄を行います。

は

ふろ水位（ふろすいい）
全自動タイプの機器で、自動運転でおふろを沸かすときの設定水位。

や

湯はり（ゆはり）
本書では、機器が循環アダプターからお湯を出し、浴槽にお湯をためることを指します。

湯量（ゆりょう）
給湯での湯量－－－ この説明書では、給湯配管先の水栓から出されるお湯の流量（出具合）を指します。
自動運転での湯量－－－ ふろ水位・ふろ設定水位・ふろ湯量と同じ意味です。

Safety Precautions

In this manual, the degree of potential danger, injury, and damage as a result of improper operation is indicated by the classifications below. Picture symbols are used to convey safety information in order to prevent danger and injury to the customer and others and damage to property. These picture symbols are described below. Be sure that you fully understand their meanings before using the heater/drier.

⚠ DANGER	Performing operation improperly without following this safety information presents an imminent danger of death, serious injury, or fire.
⚠ CAUTION	Performing operation improperly without following this safety information can potentially result in death, serious injury, or fire.
⚠ WARNING	Performing operation improperly without following this safety information could possibly result in injury or property damage only.
NOTICE	This indicates information that should be understood for using this device safely and comfortably.

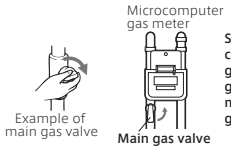
◆◆◆ **Meanings of picture symbols**

- General Safety Warnings and Precautions
- Caution Hot Surface
- Electric Shock Hazard
- General Prohibitions
- Do Not Touch
- Prohibited when Hands are Wet
- Disassembly Prohibited
- Safety Requirements
- Connect Ground Wire

⚠ DANGER

In the Event of a Gas Leak

- Immediately stop usage, close the main gas valve and the microcomputer gas meter gas valve, open the doors and windows, and then contact your nearest Tokyo Gas office.



Stop usage, and close the main gas valve and gas valve of the microcomputer gas meter.

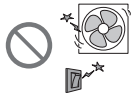
Open the windows.

Contact your nearest Tokyo Gas office.

- Until the problem is resolved by Tokyo Gas service staff, do not switch on/off or plug/unplug electrical devices (such as ventilation fans), not use matches, lighters, or other open flames under any circumstances. Also, do not use telephones in the immediate area.
  A flame or spark could ignite, resulting in an explosion.

Do not use an open flame or plug/unplug electrical devices.

Do not switch electrical devices (such as ventilation fans) on or off.

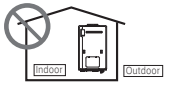


Do not use telephones in areas where you smell gas.

⚠ DANGER

Do Not Install Indoors

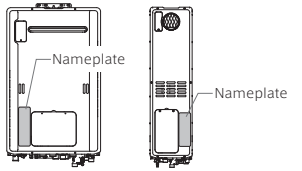
- Do not install the outdoor-installed unit indoors or in a bathroom. This can result in incomplete combustion and carbon monoxide poisoning and is extremely dangerous.



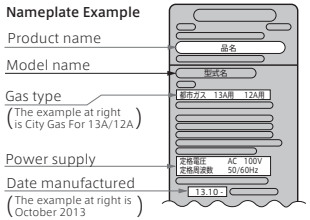
⚠ WARNING

Check the Gas Type and Power Supply

- A nameplate is attached on the front of the unit at the position shown in the figure below.
- Check the gas type (gas group) and power supply (voltage and frequency) that are displayed on the nameplate. Do not use a gas type or power supply other than those displayed on the nameplate.
  Use of a different gas type or power supply can cause an explosion or cause incomplete combustion, leading to carbon monoxide poisoning, fire, or damage to the unit.
  If you are unsure about any points, please contact the dealer where you made the purchase or your nearest Tokyo Gas office.
  If moving the unit to another location, please consult with your dealer or the gas supplier at your new location.

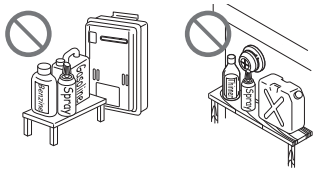


Nameplate Example



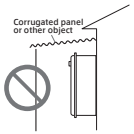
Use of Ignitable Objects Is Prohibited Spray Cans Are Strictly Prohibited

- Do not place or use ignitable liquids (such as gasoline, benzine, and kerosene) or sprays in the vicinity of the unit, exhaust duct, exhaust tube vent, or supply/exhaust tube vent. These substances can ignite and cause a fire.
- Do not place spray cans, canisters for portable ranges, or other flammable objects near the unit, exhaust duct, exhaust tube, exhaust tube vent, or supply/exhaust tube vent. Heat can build up the pressure within the spray can, causing it to explode.



Do Not Enclose the Unit

- Do not locate the unit, exhaust tube, exhaust tube vent, or supply/exhaust tube vent indoors when undergoing a home extension or renovation, nor surround these items with vinyl, corrugated panels, or other objects.
  Doing so may result in incomplete combustion or carbon monoxide poisoning and is extremely dangerous.



Do Not Use when the Supply and Exhaust Tube Vent or Unit Supply and Exhaust Sections Are Covered with a Sheet

- In certain situations, the supply/exhaust tube vent and unit supply and exhaust sections may be covered with a sheet such as when undergoing wall painting, building extension or reconstruction work, or house repairs. In such cases, do not use the unit.
  Doing so can cause incomplete combustions and carbon monoxide poisoning.

Work Must Be Performed by a Qualified Professional

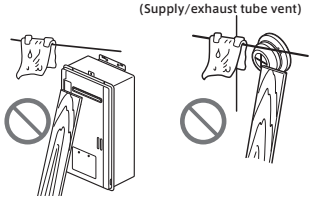
- Installation, moving, and incidental work for this unit requires special qualifications and expertise. Be sure to request the dealer from whom you purchased this product to perform the work.

Safety Precautions(continued)

⚠ WARNING

Use Caution around Flammable Materials

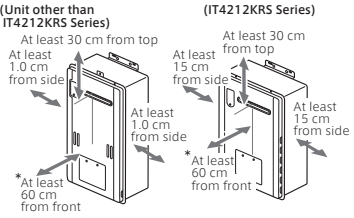
- Do not place flammable objects (wood materials, paper, or laundry) near the unit, exhaust duct, exhaust tube vent, or supply/exhaust tube vent. Doing so may result in a fire or other accident.

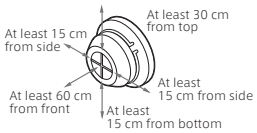


- Always provide the clearance distances below between surrounding objects and the unit, exhaust tube vent, and supply/exhaust tube vent.

Safety Requirements

Clearance distance


(Unit other than IT4212KRS Series)
At least 30 cm from top
At least 1.0 cm from side
At least 1.0 cm from side
*At least 60 cm from front
(IT4212KRS Series)
At least 30 cm from top
At least 15 cm from side
At least 15 cm from side
*At least 60 cm from front


(Supply/exhaust tube vent)
At least 30 cm from top
At least 15 cm from side
At least 15 cm from side
At least 60 cm from front
At least 15 cm from bottom

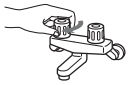
* The above figures are examples only. In every model, a clearance distance of at least 60 cm is needed in the exhaust blow-out direction from the unit body exhaust section, except when exhaust tubes are connected. Also, a clearance of at least 60 cm is required from the unit body front for inspection and repair work.

In the Event of an Emergency During Earthquakes, Fires, and Other Emergencies

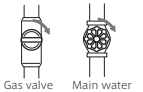
- If you notice anything unusual about the unit (such as smoke coming from the exhaust duct, exhaust tube vent, or supply/exhaust tube vent), odor, unusual sounds, strange noises, water leakage, or other problems, immediately stop operation, take the actions below, and contact your dealer or nearest Tokyo Gas office.

①Set the operation switch to "OFF."

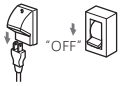
②Close the hot water supply valve.



③Close the gas valve and main water supply valve.



④Unplug the power cable (Set the circuitbreaker for the distribution board to "OFF").



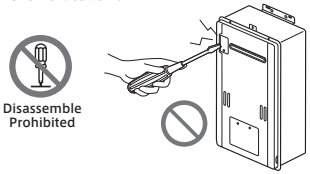
- The same action should be taken in the event of an earthquake, fire, or other emergency.

* This is not the action that should be taken in the event of a gas leak. If you notice a gas leak, see

P51"In the Event of a Gas Leak"

Do Not Modify or Disassemble

- Never attempt to modify or disassemble the unit. Modification and disassembly can result in damage to the unit, carbon monoxide poisoning, or other accidents.



⚠ WARNING

When Taking a Bath

- Do not submerge yourself in the bath tub. An accident can occur.

Gas Connections

- The gas connections for this unit use screw-in connections.
  For the gas connection work, please request the dealer from whom you purchased the product or your nearest Tokyo Gas office.

Children

- Do not allow children to play in the bathroom.
  In particular, if there is water in the bath, such as when heating the bath water, drowning or other accidents can occur.
- Do not allow children to take baths or use the hot water by themselves. Doing so may result in an accident.
  Doing so may result in an accident.
- Be careful that children do not go underwater in the bathtub.
  Doing so may result in an accident.
- Do not allow children to play near or directly under the heating source.
  Doing so may result in an accident.

Do Not Exceed the Allowable Power

- If the rated power of the outlet or wiring equipment is exceeded, or if the rated power is exceeded due to an overload of the electrical line, a fire can occur due to overheating.

Using the Priority Switch
(For Homes with Two Remote Controls Installed)

- If using the priority switch, make sure that no one else is using the bathwater.
  When the priority is switched and the temperature is changed, hot water can unexpectedly flow out, resulting in burns, or cold water can unexpectedly come flow out, resulting in an accident.

Safety Requirements

- After switching the priority, be sure to always check the hot water temperature setting on the remote control. The temperature may have been changed.

Do Not Use When Going Out or After Going to Bed

- Do not go to bed or go out while water is being supplied.
  This can lead to an accident

Connecting with Other Devices

- Products indicated as Solar-compatible Units (sold separately) can be connected with a solar water heater. Other products are unable to be connected with a solar water heater.
  Use of incompatible products can cause accidental burns due to hot water.

Be Careful of Burns When Entering the Bath

- Be sure to always check the temperature of the bath water with your hand before entering the bath.
- When reheating the water, the circulation adapter can get hot, with hot water comes out from the circulation adapter, and so be careful not to get your hand or body too close to it.

Caution Hot Surface

Safety Requirements

Bath Lid

- Do not climb on or lean your hands on the bath lid.
  The lid can open up, resulting in a burn, drowning, or other accident

Safety Precautions(continued)

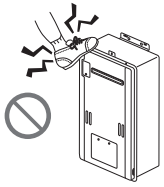
⚠ WARNING

Be Careful of Burns when Using Hot Water

- When using hot water, check the hot water temperature indicator, and be sure to check the temperature stability of the water with your hand before use.
- Note that hot water can suddenly come out in the following cases, and so do not use the initial hot water on your body.
  Do not let small children in particular use the hot water by themselves.
  * When the hot water is stopped and then used again
  * Immediately after extremely hot water is used
  * When the flow rate of the hot water drops suddenly
  * When trying to use an extremely small amount of hot water during periods When the water temperature is high, such as during summer months.
  * When the water supply pressure changes such as when toilet water is flowing
- When using the shower or hot water, the hot water temperature should not be changed by anyone other than the user. Doing so could cause hot or cold water to come out suddenly, resulting in a burn or accident.
- If the flow of hot water level is set to too low with the hot water valve, hot water can come out in spurts.
  Even if the hot water temperature is low, scalding water can come out if a small amount of hot water is used, particularly when the temperature of the cold water is high.
- When using the hot water, the shower fixtures and water valves can become hot, and so be careful that you do not get burned.

Do Not Apply Excessive Force

- Do not climb on top of the unit or incidental equipment, or place heavy objects on top. Doing so can result in an injury or damage to the equipment. If excessive force is applied to the equipment, this can result in damage or a breakdown.



Preventing Electrical Accidents

- Do not attempt to modify or apply excessive pressure to the power cord. Doing so can result in an electric shock, short-circuit, or a fire.

- Firmly insert the power plug into the outlet. If the power plug is loose, an electric shock or fire can occur.

- Do not use if the power plug or power cord is damaged.

- Do not touch the power plug when your hands are wet. Doing so may result in an electric shock.

- If dust is adhering to the prongs or base of the power plug, wipe off the dust with a dry cloth. Otherwise, this could cause a fire.

Grounding Required

- Grounding is required for this equipment. Check that it has been properly grounded.
  Failure to properly ground this equipment can result in an electrical shock when a breakdown or electrical leakage occurs. Please consult with your dealer about connecting the ground.

⚠ WARNING

Be Careful of Low-temperature Burns

- There is a danger of a low-temperature burn if you sit or lie down on the floor heater for a prolonged period of time.
  People in the surrounding area should pay particularly careful attention when the following persons use this unit.
  (1) Babies, bedridden elderly, sick people, and other people who cannot move of their own volition
  (2) People who are extremely fatigued
  (3) People with weak skin
  (4) People with unresponsive skin
  (5) People who have consumed alcohol or sleeping medicine

⚠ CAUTION

Beware of Icicles

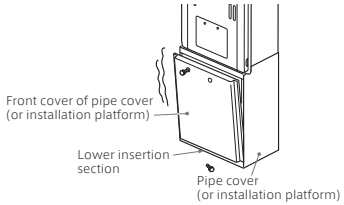
- In the winter months in particular, do not stand under the exhaust duct. The water from melted snow and moisture from the exhaust can freeze and form icicles, and these can fall and cause an injury.

When Mixing Hot Water and Cold Water

- To prevent burns, when using hot water, first open the cold water valve, and then open the hot water valve. When stopping hot water, first close the hot water valve, and then close the cold water valve. (When using mixed water valves)

Pipe Cover or Installation Platform

- If a pipe cover or installation platform is used, check that the front cover is firmly secured. Also, inspect this section periodically.
  If the ornamental screws are loose or missing and the lower insertion section has come off, the front cover will come off, and an accident can occur.



Be Careful of Burns at Exhaust Duct, Exhaust Tube Vent, and Exhaust/Supply Tube Vent

- During operation and immediately after operation, the area around the exhaust duct, exhaust tube vent, and supply/exhaust tube vent can become hot, and so do not touch these areas.

Do Not Unplug by Pulling on Power Cord

- Do not unplug the unit by pulling on the power cord. This can damage the cord and lead to overheating or a fire.

Applications

- Do not use this unit for applications other than hot water or showers for the kitchen, sink, and bathroom, and filling and heating of the bath.
  Use for other applications can result in an accident.

Safety Precautions(continued)

⚠ CAUTION

Do Not Insert Fingers or Poles into the Exhaust Duct, Exhaust Pipe, Exhaust Tube, Exhaust Tube Vent, or Supply/Exhaust Tube Vent

- Do not insert fingers or poles into the exhaust duct, exhaust pipe, exhaust tube, exhaust tube vent, or supply/exhaust tube vent. Doing so can result in an injury or breakdown of the unit.

Be Careful of Burns from the Panel Heater

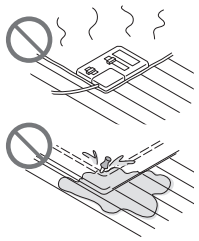
- Do not touch the surface of the panel heater. A burn can result. Homes with small children should exercise particular caution.

Water Drained from Drain Duct and Overflow Pipe

- Do not use water drained from the drain pipe and overflow pipe for drinking water or for pets.

Preventing Damage to the Floor Heater

- Do not lay an electric carpet over the floor heater. Doing so can cause the floor material to crack, warp, or gaps to form.
- Do not drop sharp objects or pierce the carpettype floor heater. Doing so can damage the heated-water pipes.



Disposing of the Unit (Note about Dry-cell Batteries)

- When replacing the unit, please request disposal of the old unit from a commercial disposal company.
  If you will dispose of the unit yourself, please remove any dry-cell batteries that were used in the unit, and then dispose of it properly.

Bath Powders and Cleansers

- Do not use bath powders or cleansers that contain sulfur, acids, alkalines, or salts, or bath powders that leave sediment.
  These substances may result in corrosion or breakdown of the heat exchanger.
  If you notice anything unusual, immediately stop operation of the unit.
- Do not use bath powders that form bubbles.
  Use of this type of bath powders can harm the water circulation and prevent heating of the bath water.
- If a chlorine-based cleanser, acidic bathroom cleanser, chlorine-based or acidic deodorizer, salts, or similar substances are splashed on the unit, gas pipes, or other parts, immediately wash them off completely with water. Otherwise, an accident can occur.
- arefully read the safety information of the bath powder or cleanser before using it.

NOTICE

Artificial Carbon Dioxide Supply Systems

- Because artificial carbon dioxide supply systems dissolve carbonic acid gas (carbon dioxide) at a high concentration within the bathtub water, this generates low acidity bathwater. When reheating the bathtub water, this may result in discoloration or corrosion of the pipes and heat exchanger in the unit and the circulation adapter installed in the bathtub.

Coloring Due to Water

- When using new water supply pipes and for certain water qualities, a small amount of copper ions dissolve in the water, generating blue compounds, and the bathtub, towels, and other objects may develop a blue tinge. This has no adverse effect on health, and so such stained articles may be washed off with a neutral cleanser and rinse thoroughly to prevent the color from adhering.

NOTICE

In the Event of Water Stoppage

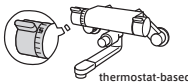
- The unit cannot be used when the water supply is stopped (reheating the water is also not available). If the water supply is stopped during operation, the unit will stop. Although heating operation is possible, operation is stopped once the water refilling operation is started, and the unit can no longer be used.
- Be aware, however, that if the hot water valve and cold water valve are left open, water will start flowing as soon as the supply of water is restored.
- In some cases, an error indicator may be displayed. Change "Operation" from OFF to ON again, and wait until the supply of water is restored.
- When the supply of water is restored, do not use the water that first comes out, and allow the water to flow fully before using.
  The water in the pipes when the water is stopped may not be suitable for drinking or cooking.

In the Event of a Power Outage

- The unit cannot be used when the power is out. If operation is in progress, it stops when the power goes out.
- Be aware that if a power outage occurs while supplying hot water, the hot water will turn cold.
- When the power is restored, the current time may not be displayed, and the hot water temperature setting may have changed. Check the display, and adjust the settings if necessary.
- If there is a danger of freezing, such as during the winter months, drain the water.
  In a power outage, the anti-freezing heater and automatic pump operation no longer function, and water can freeze inside the unit under normal cold temperatures, resulting in a breakdown of the unit or a water leak.

Water Valves

- There are many different types of water valves.
  For more information, see the operation manual for the respective water valve.
- Do not use foam valves in regions with low water pressure. The hot water temperature can be unstable.
- If using thermostat-based water valves, set the hot water temperature shown on the remote control higher than the desired temperature (handle temperature).



thermostat-based water valves

Do Not Turn Off

- Unless the unit will not be used for an extended period of time, do not unplug the power cord from the outlet, or turn off the dedicated circuit breaker in the distributor panel.
  In particular, during the winter months, if the power is turned off, the anti-freezing heater stops functioning, and this can result in breakdowns due to freezing and other causes.

Do Not Cover the Circulation Adapter with a Towel

- Do not cover the circulation adapter of the bathtub with a towel or other object. The poor circulation will prevent heating of the bathwater.
- Do not use towels inside the bathtub, or wash clothes or pets inside the tub.
  The hair and lint will be sucked in and can cause the unit to break down.

In the Event of Lightning

- When lightning begins to occur, immediately stop operation, and either unplug the power cord, or set the dedicated circuit breaker in the distributor panel to OFF.
  The electrical components can be damaged by temporary current surges due to lightning.
- Because there is a risk of electrical shock, do not touch the power plug with wet hands.
  After making sure that the lightning has moved away, check that the power plug is not wet, and then insert it all the way into the outlet.
- After inserting the power plug (dedicated circuit breaker in the distributor panel is set to ON), reset the current time and temperature.

Prohibited when Hands are Wet

During Winter Months and When Not Using for Extended Period of Time

- Please contact your dealer or a Tokyo Gas customer representative for service.

Do Not Use Non-approved Add-on Products

- Do not use non-approved add-on products with this unit. Doing so could lead to an accident or breakdown of the unit.

Safety Precautions(continued)

NOTICE

Do Not Open the Hot Water Valve When Operation is OFF

- Do not open the hot water valve when the operation switch is set to OFF. To use cold water, set the mixed water valve to the "WATER" position. If cold water flows in the pipes of the unit with cold water in the "HOT WATER" position, condensation forms inside the unit, which can shorten its service life.

Check of Flame On and Flame Off

- Use the indicator on the remote control to check that the flame is on during operation and flame is off after operation.

Intended as a General Household Product

- Frequent usage of this unit, such as for a business, can shorten the service life.

Snow

- Be careful that snow does not cover the unit, exhaust duct, exhaust tube vent, or supply/exhaust tube vent. If it looks like these parts may be covered, remove snow as a safety precaution. If these parts are covered by snow, this can cause a breakdown of the unit.
- If there is a risk of snow falling from the roof and covering or damaging the unit, exhaust duct, exhaust tube vent, or supply/exhaust tube vent, please ask a contractor to provide a snow guard on the roof.

Use in Japan Only

- Do not install and use this unit outside of Japan. Doing so can result in an accident. If this happens, we will not be liable for any damages.

Using the Shower

- Do not leave the shower head submerged in the bathtub, sink, or washbowl. If the water pressure becomes low due to a water stoppage, water can backflow into the unit and cause an accident.

Using the Remote Control

- The kitchen remote control is not waterproof. The bathroom remote control is waterproof, but do not intentionally splash it with water. Doing so can cause it to break.
- Do not allow children to play with the remote control.
- Be careful that the remote control does not come into contact with steam or hot air from rice cookers, electric pots, and other appliances. This can cause it to break.
- Do not disassemble the remote control or use it recklessly. Doing so can cause it to break.

Keep the Remote Control away from TVs and Radios

- Keep the remote control and remote control wires at least 1 meter away from TVs and radios. The remote control can interfere with video and audio reception.

Combustion Gas

- Do not place things that should not be heated or could be adversely affected by heat, such as houseplants and pets, near the exhaust duct, exhaust tube vent, or supply/exhaust tube vent.
- Ensure that the combustion gas does not directly contact the building walls, windows, glass, screen doors, aluminum sashes or other parts from a home extension or renovation. This can result in discoloration, damage, or corrosion of these parts.

Stopping Operation

- While operating the unit, do not turn off the gas valve to shut off the flame.
- While operating the unit, do not unplug the unit to shut off the flame.

Using Hot Spring Water or Private Well Water

- Depending on the water quality, foreign matter may adhere inside the pipes of the unit and adversely affect its longevity.

Using for Drinking or Cooking

- Do not use the water that comes out first in the morning or water that has remained stagnant in the unit for an extended period of time for cooking or drinking water. Instead, use it for washing water.

NOTICE

Cleaning

- Wait until the unit has cooled down before performing any cleaning.
- Use care to ensure that an injury does not occur when cleaning. To clean the unit and remote control, use neutral kitchen cleansers (for washing dishes and vegetables). Do not use other types of cleansers or scouring powders, thinner, benzine, ethanol, or scrubbing brushes or other hard objects. Using these substances can remove or scratch the glossy surface, printing, and text.
- Clean the bathtub and sink thoroughly for maximum cleanliness.

Check of Unit Installation State

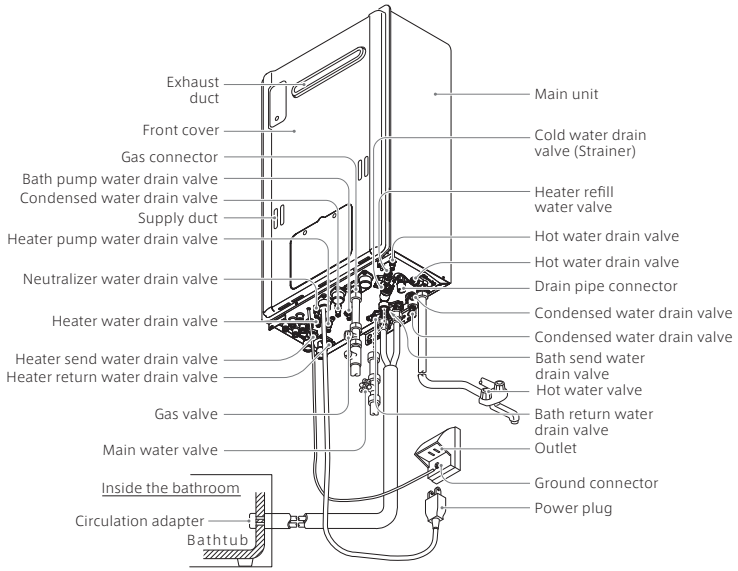
- If the following points below are not satisfied, contact the dealer where you made the purchase or your nearest Tokyo Gas office, and change the installation location.
  (1) Is the unit installed horizontally (at the correct angle)?
  (2) Are the supply and exhaust sections (supply duct and exhaust duct, exhaust tube vent, supply/exhaust tube vent, etc.) of the unit located away from the outlets and inlets of the cooler, heater, and ventilation fans? If not, this can prevent combustion from being performed normally.
  (3) Is the unit installed away from shelves and other locations where objects can fall on it?
  (4) Is the unit installed in an easily accessible location for maintenance? If not, service staff may decline to perform maintenance on the unit.
  (5) Does snowfall accumulate on the exhaust duct, exhaust tube vent, or supply/exhaust tube vent, or is the exhaust duct covered by snow fallen from the roof? This can result in incomplete combustion.

Note when Undergoing a Home Extension or Renovation

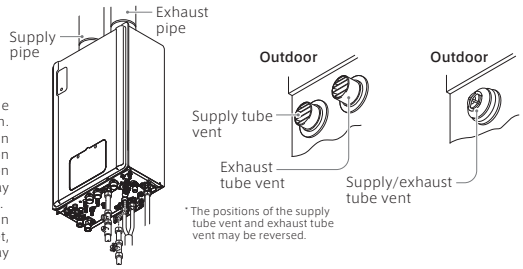
- If building a wall or other structure around the unit, exhaust tube vent, or supply/exhaust tube vent, please consult with the dealer where you made the purchase or your nearest Tokyo Gas office. The shape and size of the wall or other structure and its distance from the unit, exhaust tube vent, and supply/exhaust tube vent can prevent the unit from performing combustion properly. Space is also needed to access the front of the unit when conducting inspection and repair work.

Names of Parts

◆◆◆ Main Unit



IT4211BRS0 Series



* The positions of the supply tube vent and exhaust tube vent may be reversed.

Hint

The figure shows an example of a typical unit installation. The appearance, installation orientation, shape and position of the exhaust and connection sections, and other points may vary depending on the model. Also, the shape of the main water valve, gas valve, outlet, hot water valve, and pipes may also differ from this figure.

62～64ページはメモページです。

品名			
	IT4212ARS5AW3TM	IT2812ARS9AW3CM	IT4212ARS9SW3CM
	IT4212ARS2AW3TM	IT4212KRSAWCM	IT4212ARS2SW3PM
	IT4212ARS4AW3TM	IT4211BRSAW6CU	IT4212ARS4SW3PM
	IT4212ARS9AW3TM	IT4211BRS2AW6CU	IT4212ARS5SW3PM
	IT4212ARS5AWTM	IT4211BRS4AW6CU	IT4212ARS9SW3PM
	IT4212ARS2AWTM	IT4211BRS5AW6CU	IT2812ARSSW3CM
	IT4212ARS4AWTM	IT4211BRS9AW6CU	IT2812ARS2SW3CM
	IT4212ARS9AWTM	IT4211BRS0AW6CU	IT2812ARS4SW3CM
	IT4212ARS5SW3TM	IT4211BRSAW3CU	IT2812ARS5SW3CM
	IT4212ARS2SW3TM	IT4211BRS2AW3CU	IT2812ARS9SW3CM
	IT4212ARS4SW3TM	IT4211BRS4AW3CU	IT4212KRSSWCM
	IT4212ARS9SW3TM	IT4211BRS5AW3CU	IT4211BRSSW6CU
	IT4212ARS5SWTM	IT4211BRS9AW3CU	IT4211BRS2SW6CU
	IT4212ARS2SWTM	IT4211BRS0AW3CU	IT4211BRS4SW6CU
	IT4212ARS4SWTM	IT4211BRSAWC	IT4211BRS5SW6CU
	IT4212ARS9SWTM	IT4211BRS2AWC	IT4211BRS9SW6CU
	IT2812ARS5AW3TM	IT4211BRS4AWC	IT4211BRS0SW6CU
	IT2812ARS2AW3TM	IT4211BRS5AWC	IT4211BRSSW3CU
	IT2812ARS4AW3TM	IT4211BRS9AWC	IT4211BRS2SW3CU
	IT2812ARS9AW3TM	IT2811BRSAW3CU	IT4211BRS4SW3CU
	IT2812ARS5AWTM	IT2811BRS2AW3CU	IT4211BRS5SW3CU
	IT2812ARS2AWTM	IT2811BRS4AW3CU	IT4211BRS9SW3CU
	IT2812ARS4AWTM	IT2811BRS5AW3CU	IT4211BRS0SW3CU
	IT2812ARS9AWTM	IT2811BRS9AW3CU	IT2811BRSSW3CU
	IT2812ARS5SW3TM	IT4211BRSAW6PU	IT2811BRS2SW3CU
	IT2812ARS2SW3TM	IT4211BRS2AW6PU	IT2811BRS4SW3CU
	IT2812ARS4SW3TM	IT4211BRS4AW6PU	IT2811BRS5SW3CU
	IT2812ARS9SW3TM	IT4211BRS5AW6PU	IT2811BRS9SW3CU
	IT2812ARS5SWTM	IT4211BRS9AW6PU	IT4211BRSSW3PU
	IT2812ARS2SWTM	IT4211BRS0AW6PU	IT4211BRS2SW3PU
	IT2812ARS4SWTM	IT4211BRSAWP	IT4211BRS4SW3PU
	IT2812ARS9SWTM	IT4211BRS2AWP	IT4211BRS5SW3PU
	IT4212ARSAW3CM	IT4211BRS4AWP	IT4211BRS9SW3PU
	IT4212ARS2AW3CM	IT4211BRS5AWP	IT4211BRS0SW3PU
	IT4212ARS4AW3CM	IT4211BRS9AWP	IT2811BRSSW3PU
	IT4212ARS5AW3CM	IT4213LRSAW6CU	IT2811BRS2SW3PU
	IT4212ARS9AW3CM	IT4213LRS4AW6CU	IT2811BRS4SW3PU
	IT4212ARS2AW3PM	IT4213LRSAW3CU	IT2811BRS5SW3PU
	IT4212ARS4AW3PM	IT4213LRS4AW3CU	IT2811BRS9SW3PU
	IT4212ARS5AW3PM	IT4212LRSAW3CM	IT4213LRSSW6CU
	IT4212ARS9AW3PM	IT4212LRS4AW3CM	IT4213LRS4SW6CU
	IT2812ARSAW3CM	IT4212ARSSW3CM	IT4213LRSSW3CU
	IT2812ARS2AW3CM	IT4212ARS2SW3CM	IT4213LRS4SW3CU
	IT2812ARS4AW3CM	IT4212ARS4SW3CM	IT4212LRSSW3CM
	IT2812ARS5AW3CM	IT4212ARS5SW3CM	IT4212LRS4SW3CM

■ お買い上げ日および販売店

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日		
販売店名		扱者印	
住所			
電話番号			

保証書

左記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お買い上げの日から 2 年間とし、本体（リモコンを含む）を対象にします。なお下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
   ① 内胴・電装基板・リモコン（電装基板に起因する故障のみ）…… 5 年
   ② ポンプ・ファンモータ…… 3 年
2. 万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3. サービス員がお伺いした時に、保証書をご提示下さい。
4. 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
   (1) 住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
   (2) 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
   (3) 器具を調整、改造された場合の不具合（但し、当社都合の場合はのぞきます）
   (4) お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
   (5) 建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
   (6) 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
   (7) 犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
   (8) 火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
   (9) 電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
   (10) 指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
   (11) 給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
   (12) 温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
   (13) 本保証書を紛失された場合
5. 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者 東京ガス株式会社
〒105−8527 東京都港区海岸1丁目5番20号

保証責任者 株式会社ガスター
〒242−8577 神奈川県大和市深見台3−4

■ 修理記録

この本体の修理記録は、本体のフロントカバーの裏に付属の故障診断シートに記録します。

■ お客さまへ

1. この保証書をお受け取りになる時に、販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行しませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
4. この保証書によって保証書を発行している者（保証履行者・保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。